

参 考 資 料

北のクリーン農産物表示制度生産集団登録基準

第1 趣 旨

本基準は、「北のクリーン農産物表示要領」（以下、「要領」という。）第18条の規定に基づき、登録の基準について必要な事項を定める。

第2 対象農産物

別表1のとおりとする。

第3 栽培基準

1 栽培方法

農業の自然循環機能の維持増進及び安全、安心、品質の高い農産物の生産を図るため、たい肥等の施用などによる土づくりを基本として、化学肥料や化学合成農薬の使用を最小限にとどめる栽培方法とする。

2 種 苗

遺伝子組換え由来の種苗を使用しないこと。

3 肥料及び化学肥料の使用

別表2の基準を満たしていること。

4 農薬の使用

別表3の基準を満たしていること。

5 その他登録基準

(1) 水稻 有人航空防除を実施していないこと。

(2) ばれいしょ 茎葉枯凋剤は使用せず、自然枯凋または機械処理を行うこと。

第4 そ の 他

その他については、別に定める。

附則

1 この基準は、平成15年9月25日から適用する。

2 この基準は、平成16年6月11日から適用する。

3 この基準は、平成16年10月1日から適用する。

4 この基準は、平成18年12月15日から適用する。

5 この基準は、平成20年6月23日から適用する。

6 この基準は、平成21年3月11日から適用する。

7 この基準は、平成24年12月14日から適用する。

ただし、すでに登録された栽培基準により栽培を行っている場合、平成26年12月31日まで、従前の登録基準によることができる。

8 この基準は、平成25年3月26日から適用する。

別表1

対象農産物一覧

No.	作物名	No.	作物名
1	水稻（うるち、もち）	34	みずな
2	秋まき小麦	35	こまつな
3	春まき小麦	36	チンゲンサイ
4	大豆	37	あさつき
5	小豆	38	にら
6	菜豆	39	食用ゆり
7	ばれいしょ	40	ターサイ
8	そば	41	だいこん
9	てんさい	42	にんじん
10	ひまわり	43	ごぼう
11	トマト	44	かぶ
12	ミニトマト	45	はつかだいこん
13	きゅうり	46	ながいも
14	なす	47	ヤーコン
15	かぼちゃ	48	すいか
16	えだまめ	49	メロン
17	スイートコーン	50	まくわうり
18	さやいんげん	51	いちご
19	さやえんどう	52	ピーマン
20	ししとう	53	レタス
21	とうがらし(なんばん)	54	リーフレタス
22	たまねぎ	55	サラダナ
23	ねぎ	56	セルリー
24	小ねぎ	57	ブロッコリー
25	はくさい	58	アスパラガス
26	キャベツ	59	カリフラワー
27	ほうれんそう	60	りんご
28	チコリ	61	なし
29	サンチュ	62	ぶどう
30	モロヘイヤ	63	おうとう
31	にんにく	64	プルーン
32	みつば	65	ハスカップ
33	しゅんぎく	66	ブルーベリー

[別表2]

肥料及び化学肥料の使用基準

1 土壌診断の実施

使用基準を適用するための土壌診断は次の方法で実施すること。

作物区分	分析項目	対象期間
水稻	湛水培養窒素	3年以内
畑作物	熱水抽出性窒素	3年以内
野菜（露地）	生土培養窒素または熱水抽出性窒素	3年以内
野菜（ハウス）	硝酸態窒素	1年以内

注1）対象期間とは、施肥設計に用いる土壌診断データの有効期間である。

注2）次の農産物については、別表2の各作物毎の使用基準に記載されている総窒素
施用量上限値において土壌窒素肥沃度別の基準値を設定していないので、土壌診
断は義務化しないが、的確な施肥を行うために実施に努めるものとする。

[秋まき小麦でパン用に「キタノカオリ」を栽培する場合、春まき小麦、豆類、
そば、ひまわり、小ねぎ、ターサイ、あさつき、はつかだいこん、まくわうり、
リーフレタス、サラダナ、セルリー、モロヘイヤ、チコリ、ヤーコン、サンチュ、
果樹]

2 肥料及び化学肥料の使用

前作の農産物の収穫後から当該農産物の収穫までの期間において使用した肥料及び
化学肥料の使用量が使用基準を満たしていること。

[水稻－うるち(移植)、うるち(直播)、もち(移植)]

1 総窒素施用量上限値(中間地帯)

(kg/10a)

土 壤	窒素肥沃度水準			
	低	中	やや高	高
低地土(乾)	8.5	8.0	7.5	7.0
低地土(湿)	8.0	7.5	7.0	6.5
泥炭土	6.5	6.0	5.5	5.0
火山性土	8.0	7.5	7.0	6.5
台地土	7.5	7.0	6.5	6.0

- 注1) 低収地帯(450kg/10a以下)は上記から1kg差し引き、高収地帯(540kg/10a以上)は1kg加算する。
 ・低収地帯: 檜山南部、黒松内、豊浦及び南羊蹄、下川、北留萌及び上川最北部、津別、佐呂間、十勝
 ・高収地帯: 上川中央部、上川中北部及び富良野、空知中西部および空知北部
 注2) 「はくちょうもち」は上記に1kg加算する。
 注3) 「大地の星」は上記に2kg加算する。
 注4) 直播の施肥量は移植に準ずる。

2 たい肥等有機物施用量下限値

1 t/10a

- 注1) たい肥1t当たりの窒素換算量は1kgとする。この場合のたい肥とは「稲わらたい肥」をさす。
 注2) たい肥に相当する有機物での対応も認めるものとする。
 ※「相当する有機物」の定義
 ・当該年有効である窒素がたい肥から供給される窒素と同等である有機物
 ・施用される乾物量がたい肥と同等である有機物
 注3) 窒素肥沃度水準が「やや高」、「高」に分類されており、米のタンパク値が6.5%(極良食味米)を目標とする集団は、たい肥又はたい肥に相当する有機物の施用を省略することができる。

3 化学肥料施用量上限値(中間地帯)

(kg/10a)

土 壤	窒素肥沃度水準			
	低	中	やや高	高
低地土(乾)	7.0	7.0	6.5	6.0
低地土(湿)	6.5	6.5	6.0	5.5
泥炭土	5.0	5.0	4.5	4.0
火山性土	6.5	6.5	6.0	5.5
台地土	6.0	6.0	5.5	5.0

- 注1) たい肥1t/10a(窒素成分1kg相当)を導入した場合の化学肥料施用量上限値である。
 注2) 化学肥料施用量上限値＝「1 総窒素施用量上限値」－「2 たい肥等有機物施用量下限値に係る窒素換算量」とする。
 ただし、土壤肥沃度「中」「やや高」「高」の場合に適用し、窒素肥沃度水準が「低」の場合は、たい肥などの有機物の施用による土づくりを進めるため、化学肥料施用量上限値は「中」の値を適用するものとする。

[参考: 窒素肥沃度水準の分類]

窒素肥沃度水準は、土壤診断による「湛水培養窒素」の分析結果に基づき、以下のとおり分類するものとする。

土 壤	湛水培養窒素(mg/100g)			
	低	中	やや高	高
低地土(乾)	7未満	7以上-12未満	12以上-14未満	14以上
低地土(湿)	7未満	7以上-15未満	15以上-18未満	18以上
泥炭土	7未満	7以上-14未満	14以上-16未満	16以上
火山性土	7未満	7以上-12未満	12以上-14未満	14以上
台地土	6未満	6以上-14未満	14以上-17未満	17以上

- 注1) 過去3年以内に分析された値を対象とする。
 注2) 生産集団における単数または複数の代表的な土壤区分を対象に分析するものとする。

[麦類]

1 総窒素施用量上限値

(kg/10a)

作物名	土壌窒素肥沃度		
	低	中	高
秋まき小麦	16.0	12.0	8.0
春まき小麦	—	10.0	—

- 注1) 腐植の集積が著しい土壌(多湿黒ボク土、泥炭土)では、土壌窒素肥沃度「中」を適用する。
 注2) 秋まき小麦「きたほなみ」は上記に4kg/10aを加算する。
 注3) 秋まき小麦について、総窒素施用量上限値はパン用に「キタノカオリ」を栽培する場合は20kg/10aとする。
 注4) 初冬まき栽培する場合について、「ハルユタカ」は16kg/10a、「春よ恋」は10kg/10aとする。

2 たい肥等有機物施用量下限値

1 t/10a

- 注1) たい肥1t当たりの窒素換算量は1kgとする。この場合のたい肥とは、「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」をさす。
 注2) たい肥に相当する有機物での対応も認めるものとする。
 ※「相当する有機物」の定義
 ・当該年有効である窒素がたい肥から供給される窒素と同等である有機物
 ・施用される乾物量がたい肥と同等である有機物
 注3) 根菜類でたい肥の施用により品質の低下、土壌病害の多発が危惧される場合には、たい肥の施用を当該作物の前の作物の栽培前に施用することで代替できるものとする。
 注4) 輪作を行っているほ場では、たい肥等施用量下限値の算出に当たり、輪作内における平均値での対応も認めるものとする。例えば、2年間たい肥を施用しなくても3年目にたい肥3tを施用する場合には適合しているものとする。
 注5) 前作のほ場副産物(麦稈等)は、たい肥に相当する有機物とは見なさないものとする。

3 化学肥料施用量上限値

(kg/10a)

作物名	土壌窒素肥沃度		
	低	中	高
秋まき小麦	11.0	11.0	7.0
春まき小麦	—	9.0	—

- 注1) たい肥1t/10a(窒素成分1kg相当)を施用した場合の化学肥料施用量上限値である。
 注2) 化学肥料施用量上限値＝「1 総窒素施用量上限値」－「2 たい肥等有機物施用量下限値に係る窒素換算量」とする。
 ただし、土壌肥沃度「中」、「高」の場合に適用し、窒素肥沃度水準が「低」場合は、たい肥などの有機物の有機物の施用による土づくりを進めるため、化学肥料施用量上限値は「中」の値を適用するものとする。
 注3) 秋まき小麦「きたほなみ」は上記に4kg/10aを加算する。
 注4) 秋まき小麦について、化学肥料施用量上限値はパン用に「キタノカオリ」を栽培する場合は19kg/10aとする。
 注5) 初冬まき栽培する場合について、「ハルユタカ」は15kg/10a、「春よ恋」は9kg/10aとする。

4 たい肥施用量上限値

3 t/10a

- 注1) 輪作を行っているほ場では、たい肥施用量上限値の算出に当たり、輪作内における平均値での対応も認めるものとするが、1年間の施用量が5tを超えないものとする。
 例えば2年に1回たい肥を施用する場合には、1回に5t施用することができる。3年に1回施用する場合でも、1回に6tを施用することはできない。
 注2) たい肥施用量上限値は「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」を施用した場合にのみ適用するものとする。

[参考:窒素肥沃度水準の分類]

土壌窒素肥沃度は、土壌診断による「熱水抽出性窒素」の分析結果に基づき、以下のとおり分類するものとする。

作物名		熱水抽出性窒素(mg/100g)		
		低	中	高
秋まき小麦	土壌区分A	5未満	5以上-7未満	7以上
	土壌区分B	10未満	10以上-15未満	15以上

- 注1) 「熱水抽出性窒素」は過去3年以内に分析された値を対象とする。
 注2) 土壌区分A:火山性土のうち乾性を呈し、かつ作土の腐植含量が「含む(2～5%)」以下のもの。
 台地土のうち褐色森林土。低地土の全て
 土壌区分B:火山性土のうち湿性を呈するものまたは作土の腐植含量が「富む(5～10%)」以上のもの。
 台地土のうち灰色台地土およびグライ台地土
 注3) 生産集団における単数または複数の代表的な土壌区分を対象に分析するものとする。

[畑作物－豆類]

1 総窒素施用量上限値と化学肥料施用量上限値等

作物名	総窒素施用量 上限値 (kg/10a)	たい肥等有機物 施用量下限値 (t/10a)	化学肥料施用量 上限値 (kg/10a)	たい肥施用量 上限値 (t/10a)
大豆	3.0	1.0	2.0	3.0
小豆	4.0	1.0	3.0	
菜豆	4.0	1.0	3.0	

注1) たい肥1t当たりの窒素換算量は1kgとする。この場合のたい肥とは、「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」をさす。

注2) たい肥に相当する有機物での対応も認めるものとする。

※「相当する有機物」の定義

- ・当該年有効である窒素がたい肥から供給される窒素と同等である有機物
- ・施用される乾物量がたい肥と同等である有機物

注3) 輪作を行っているほ場では、たい肥等有機物施用量下限値の算出に当たり、輪作内における平均値での対応も認めるものとする。例えば、2年間たい肥を施用しなくても3年目にたい肥3tを施用する場合には適合しているものとする。

注4) 輪作を行っているほ場では、たい肥施用量上限値の算出に当たり、輪作内における平均値での対応も認めるものとするが、1年間の施肥量が5tを超えないものとする。例えば、2年に1回たい肥を施用する場合には、1回に5t施用することができるが、3年に1回施用する場合でも、1回に6tを施用することはできない。

注5) 化学肥料施用量上限値＝

「1 総窒素施用量上限値」－「2 たい肥等有機物施用量下限値に係る窒素換算量

注6) たい肥施用量上限値は「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」を施用した場合にのみ適用するものとする。

注7) 前作のは場副産物(麦稈等)は、たい肥に相当する有機物とは見なさないものとする。

[畑作－その他]

1 総窒素施用量上限値

(kg/10a)

作物名	土壌窒素肥沃度		
	低	中	高
ばれいしょ	12.0	10.0	8.0
そば	－	3.0	－
てんさい	20.0	16.0	12.0
ひまわり	－	6.0	－

注1) 腐植の集積が著しい土壌(多湿黒ボク土、泥炭土)では、土壌窒素肥沃度「中」を適用する。

2 たい肥等有機物施用量下限値

1 t/10a

注1) たい肥1t当たりの窒素換算量は1kgとする。この場合のたい肥とは、「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」をさす。

注2) たい肥に相当する有機物での対応も認めるものとする。

※「相当する有機物」の定義

- ・当該年有効である窒素がたい肥から供給される窒素と同等である有機物
- ・施用される乾物量がたい肥と同等である有機物

注3) 根菜類でたい肥の施用により品質の低下、土壌病害の多発が危惧される場合には、たい肥の施用を当該作物の前の作物の栽培前に施用することで代替できるものとする。

注4) 輪作を行っているほ場では、たい肥等施用量下限値の算出に当たり、輪作内における平均値での対応も認めるものとする。例えば、2年間たい肥を施用しなくても3年目にたい肥3tを施用する場合には適合しているものとする。

注5) 前作のほ場副産物(麦稈等)は、たい肥に相当する有機物とは見なさないものとする。

3 化学肥料施用量上限値

(kg/10a)

作物名	土壌窒素肥沃度		
	低	中	高
ばれいしょ	9.0	9.0	7.0
そば	－	2.0	－
てんさい	15.0	15.0	11.0
ひまわり	－	5.0	－

注1) たい肥1t/10a(窒素成分1kg相当)を施用した場合の化学肥料施用量上限値である。

注2) 化学肥料施用量上限値＝「1 総窒素施用量上限値」－「2 たい肥等有機物施用量下限値に係る窒素換算量」とする。

ただし、土壌肥沃度「中」、「高」の場合に適用し、窒素肥沃度水準が「低」場合は、たい肥などの有機物の施用による土づくりを進めるため、化学肥料施用量上限値は「中」の値を適用するものとする。

4 たい肥施用量上限値

3 t/10a

注1) 輪作を行っているほ場では、たい肥施用量上限値の算出に当たり、輪作内における平均値での対応も認めるものとするが、1年間の施用量が5tを超えないものとする。

例えば2年に1回たい肥を施用する場合には、1回に5t施用することができる。3年に1回施用する場合でも、1回に6tを施用することはできない。

注2) たい肥施用量上限値は「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」を施用した場合にのみ適用するものとする。

[参考:窒素肥沃度水準の分類]

土壌窒素肥沃度は、土壌診断による「熱水抽出性窒素」の分析結果に基づき、以下のとおり分類するものとする。

作物名	熱水抽出性窒素(mg/100g)		
	低	中	高
ばれいしょ	3未満	3以上-5未満	5以上
てんさい	5未満	5以上-7未満	7以上

注1) 「熱水抽出性窒素」は過去3年以内に分析された値を対象とする。

注2) 生産集団における単数または複数の代表的な土壌区分を対象に分析するものとする。

[野菜類－長期どりの果菜類除く]

1 総窒素施用量上限値

(kg/10a)

作物名		土壌窒素肥沃度		
		低	中	高
	作型			
かぼちゃ	露地	14.0	10.0	7.0
えだまめ	露地	3.0(大豆に準ずる)		
スイートコーン	露地	17.0	14.0	11.0
	ハウス	17.0	14.0	11.0
さやいんげん	露地	10.0	9.0	7.0
	ハウス	6.0	4.0	2.0
さやえんどう	露地	8.0	6.0	3.0
たまねぎ	露地	18.0	15.0	12.0
ねぎ	露地	24.0	21.0	18.0
	ハウス	25.0	20.0	15.0
小ねぎ	露地	—	18.0	—
	ハウス	—	18.0	—
はくさい	露地	26.0	24.0	20.0
	トンネル早春まき	—	34.0	—
	ハウス	18.0	14.0	10.0
	ハウス早春まき	28.0	24.0	20.0
キャベツ	露地	24.0	22.0	16.0
	ハウス	16.0	14.0	8.0
ほうれんそう	ハウス	12.0	9.0	6.0
	ハウス越冬	18.0	15.0	12.0
チコリ	露地	—	5.0	—
サンチュ	ハウス	—	20.0	—
モロヘイヤ	ハウス	—	15.0	—
にんにく	露地	22.0	18.0	14.0
みつば(ハウス)	軟化みつば	18.0	15.0	12.0
しゅんぎく(ハウス)	抜き取り	20.0	15.0	10.0
	摘み取り	—	25.0	—
みずな	ハウス	12.0	9.0	3.0
こまつな	露地	15.0	12.0	9.0
	ハウス	15.0	12.0	10.0
チンゲンサイ	露地	18.0	15.0	12.0
	ハウス	18.0	15.0	10.0
ターサイ	露地	—	16.0	—
	ハウス	—	16.0	—
あさつき	ハウス	—	30.0	—
にら	ハウス	32.0	26.0	20.0
食用ゆり	露地	30.0	25.0	20.0
だいこん	露地	9.0	8.0	7.0
	春まきトンネル	12.0	10.0	8.0
	ハウス	9.0	8.0	7.0
	ハウス早春まき	14.0	11.0	8.0
にんじん	露地	15.0	12.0	9.0
ごぼう	露地	20.0	18.0	14.0
かぶ	露地	13.0	12.0	11.0
	ハウス	16.0	12.0	8.0
はつかだいこん	ハウス	—	12.0	—
ながいも	露地	20.0	18.0	11.0
ヤーコン	露地	—	12.0	—
すいか	露地	11.0	9.0	7.0
	ハウス	14.0	12.0	8.0
メロン	露地	13.0	10.0	7.0
	ハウス	16.0	14.0	10.0
まくわうり	露地	—	10.0	—
	ハウス	—	14.0	—

(kg/10a)

作物名	作型	土壌窒素肥沃度		
		低	中	高
いちご	露地	16.0	13.0	10.0
	ハウス	15.0	12.0	7.0
	ハウス夏秋どり	18.0	15.0	12.0
レタス	露地	18.0	16.0	10.0
	ハウス	18.0	16.0	10.0
リーフレタス	露地	—	16.0	—
	ハウス	—	16.0	—
サラダナ	露地	—	16.0	—
	ハウス	—	16.0	—
セルリー	露地	—	50.0	—
	ハウス	—	50.0	—
ブロッコリー	露地(8月どり)	18.0	14.0	10.0
	露地(8月どり以外)	22.0	18.0	16.0
アスパラガス	露地	25.0	20.0	15.0
	ハウス	25.0	20.0	15.0
	立茎露地	48.0	45.0	32.0
	立茎ハウス	50.0	45.0	35.0
カリフラワー	露地	22.0	18.0	14.0

注1) 腐植の集積が著しい土壌(多腐植質多湿黒ボク土など)では、土壌窒素肥沃度「中」を適用する。

注2) 作型「ハウス」の数値が設定されていない作物では、作型「露地」の基準を準用する。

注3) 作型「露地」は、トンネル、マルチを含む。

注4) たまねぎについては、初期生育の確保に追肥が必要とされる地域を対象として、4kgを上限に追肥を認めるものとする。

[野菜類－長期どりの果菜類除く]

2 たい肥等有機物施用量下限値

作物区分	たい肥等有機物施用量下限値 (t/10a)	たい肥1t当たりの窒素成分量 (kg)
露地野菜	2	1
施設野菜	4	1.5

注1) たい肥に相当する有機物での対応も認めるものとする。この場合のたい肥とは、「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」をさす。

※「相当する有機物」の定義

- ・当該年有効である窒素がたい肥から供給される窒素と同等である有機物
- ・施用される乾物量がたい肥と同等である有機物

注2) 根菜類でたい肥の施用により品質の低下、土壌病害の多発が危惧される場合には、たい肥の施用を当該作物の前の作物の栽培前に施用することで代替できるものとする。

注3) 施設野菜において、ふん尿割合の高いたい肥を利用する場合には1t当たりの窒素換算量を2kgとする。

注4) 1年に数作作付けする作物の場合には、上記の数値を1年間のたい肥施用量下限値とみなし、「栽培基準に定めるべき共通事項(第5条関係)」には、本数値をそれぞれの作期の栽培期間に応じて按分して記入することができる。

注5) 輪作を行っているほ場では、たい肥等有機物施用量下限値の算出に当たり、輪作内における平均値での対応も認めるものとする。

例えば、露地で前年に3t、当該年に1t施用する場合には適合するものとする。

3 化学肥料施用量上限値

(kg/10a)

作物名	作型	土壌窒素肥沃度			備考			
		低	中	高	たい肥等 有機物 施用量 下限値A (t/10a)	Aの窒素 換算量 (kg/10a) B	係数 (回) C	1作当たりたい肥 等有機物窒素 換算量 (kg/10a) D=B/C
かぼちゃ	露地	8.0	8.0	5.0	2.0	2.0	1	2.0
えだまめ	露地	2.0(大豆に準ずる)			1.0	1.0	1	1.0
スイートコーン	露地	12.0	12.0	9.0	2.0	2.0	1	2.0
	ハウス	8.0	8.0	5.0	4.0	6.0	1	6.0
さやいんげん	露地	7.0	7.0	5.0	2.0	2.0	1	2.0
	ハウス	2.0	2.0	2.0	4.0	6.0	1	6.0
さやえんどう	露地	4.0	4.0	2.0	2.0	2.0	1	2.0
たまねぎ	露地	13.0	13.0	10.0	2.0	2.0	1	2.0
ねぎ	露地	19.0	19.0	16.0	2.0	2.0	1	2.0
	ハウス	14.0	14.0	9.0	4.0	6.0	1	6.0
小ねぎ	露地	—	17.0	—	2.0	2.0	2	1.0
	ハウス	—	15.0	—	4.0	6.0	2	3.0
はくさい	露地	23.0	23.0	19.0	2.0	2.0	2	1.0
	トンネル早春まき	—	33.0	—	2.0	2.0	2	1.0
	ハウス	11.0	11.0	7.0	4.0	6.0	2	3.0
	ハウス早春まき	21.0	21.0	17.0	4.0	6.0	2	3.0
キャベツ	露地	21.0	21.0	15.0	2.0	2.0	2	1.0
	ハウス	11.0	11.0	5.0	4.0	6.0	2	3.0
ほうれんそう	ハウス	7.5	7.5	4.5	4.0	6.0	4	1.5
	ハウス越冬	13.5	13.5	10.5	4.0	6.0	4	1.5
チコリ	露地	—	3.0	—	2.0	2.0	1	2.0
サンチュ	ハウス	—	14.0	—	4.0	6.0	1	6.0
モロヘイヤ	ハウス	—	9.0	—	4.0	6.0	1	6.0
にんにく	露地	16.0	16.0	12.0	2.0	2.0	1	2.0
みつば(ハウス)	軟化みつば	9.0	9.0	6.0	4.0	6.0	1	6.0
しゅんぎく(ハウス)	抜き取り	13.5	13.5	8.5	4.0	6.0	4	1.5
	摘み取り	—	19.0	—	4.0	6.0	1	6.0
みずな	ハウス	7.0	7.0	1.0	4.0	6.0	3	2.0
こまつな	露地	11.5	11.5	8.5	2.0	2.0	4	0.5
	ハウス	10.5	10.5	8.5	4.0	6.0	4	1.5
チンゲンサイ	露地	14.0	14.0	11.0	2.0	2.0	2	1.0
	ハウス	13.0	13.0	8.0	4.0	6.0	3	2.0
ターサイ	露地	—	15.0	—	2.0	2.0	2	1.0
	ハウス	—	13.0	—	4.0	6.0	2	3.0
あさつき	ハウス	—	27.0	—	4.0	6.0	2	3.0
にら	ハウス	24.0	24.0	18.0	2.0	2.0	1	2.0
食用ゆり	露地	23.0	23.0	18.0	2.0	2.0	1	2.0
だいこん	露地	7.0	7.0	6.0	2.0	2.0	2	1.0
	春まきトンネル	9.0	9.0	7.0	2.0	2.0	2	1.0
	ハウス	5.0	5.0	4.0	4.0	6.0	2	3.0
	ハウス早春まき	8.0	8.0	5.0	4.0	6.0	2	3.0
にんじん	露地	10.0	10.0	7.0	2.0	2.0	1	2.0
ごぼう	露地	16.0	16.0	12.0	2.0	2.0	1	2.0
かぶ	露地	11.0	11.0	10.0	2.0	2.0	2	1.0
	ハウス	9.0	9.0	5.0	4.0	6.0	2	3.0
はつかだいこん	ハウス	—	10.5	—	4.0	6.0	4	1.5
ながいも	露地	16.0	16.0	9.0	2.0	2.0	1	2.0
ヤーコン	露地	—	10.0	—	2.0	2.0	1	2.0
すいか	露地	7.0	7.0	5.0	2.0	2.0	1	2.0
	ハウス	6.0	6.0	2.0	4.0	6.0	1	6.0
メロン	露地	8.0	8.0	5.0	2.0	2.0	1	2.0
	ハウス	8.0	8.0	4.0	4.0	6.0	1	6.0
まくわうり	露地	—	8.0	—	2.0	2.0	1	2.0
	ハウス	—	8.0	—	4.0	6.0	1	6.0
いちご	露地	11.0	11.0	8.0	2.0	2.0	1	2.0
	ハウス	6.0	6.0	2.0	4.0	6.0	1	6.0
	ハウス夏秋どり	9.0	9.0	6.0	4.0	6.0	1	6.0

		(kg/10a)			備 考			
作物名	作型	土壌窒素肥沃度			たい肥等有機物 施用 量 下 限 値 A (t/10a)	Aの窒素 換算量 (kg/10a) B	係数 (回) C	1作当たりたい肥 等有機物窒素 換算量 (kg/10a) D=B/C
		低	中	高				
レタス	露地	15.0	15.0	9.0	2.0	2.0	2	1.0
	ハウス	13.0	13.0	7.0	4.0	6.0	2	3.0
リーフレタス	露地	—	15.0	—	2.0	2.0	2	1.0
	ハウス	—	13.0	—	4.0	6.0	2	3.0
サラダナ	露地	—	15.0	—	2.0	2.0	2	1.0
	ハウス	—	13.0	—	4.0	6.0	2	3.0
セルリー	露地	—	48.0	—	2.0	2.0	1	2.0
	ハウス	—	44.0	—	4.0	6.0	1	6.0
ブロッコリー	露地(8月どり)	13.0	13.0	9.0	2.0	2.0	2	1.0
	露地(8月どり以外)	17.0	17.0	15.0	2.0	2.0	2	1.0
アスパラガス	露地	18.0	18.0	13.0	2.0	2.0	1	2.0
	ハウス	14.0	14.0	9.0	4.0	6.0	1	6.0
	立茎露地	43.0	43.0	30.0	2.0	2.0	1	2.0
	立茎ハウス	39.0	39.0	29.0	4.0	6.0	1	6.0
カリフラワー	露地	17.0	17.0	13.0	2.0	2.0	2	1.0

- 注1) 化学肥料施用量上限値＝「1 総窒素施用量上限値」－「D 1作当たりたい肥等有機物窒素換算量」
ただし、土壌肥沃度「中」、「高」の場合に適用し、窒素肥沃度水準が「低」の場合は、たい肥などの有機物の施用による土づくりを進めるため、化学肥料施用量上限値は「中」の値を適用するものとする。
- 注2) 「1作当たりたい肥等有機物窒素換算量」＝「たい肥等有機物施用量に係る窒素換算量」÷係数(当該作物の平均的な年間栽培回数)とする。
※ 作物によっては、栽培期間が短いことから、施用したたい肥の窒素換算量を年間栽培回数で除して1作当たりの窒素換算量を算出する。
- 注3) たまねぎについては、初期生育の確保に追肥が必要とされる地域を対象として、4kgを上限に追肥を認めるものとする。
- 注4) 露地野菜については、たい肥2t/10a(窒素成分2kg相当)、施設野菜については、たい肥4t/10a(窒素成分6kg相当)を施用した場合の化学肥料施用量上限値である。
- 注5) 作型「ハウス」の基準が設定されていない作物では、露地の基準を準用する。その際、たい肥等有機物施用量下限値を4t/10a、それに伴う換算量を6kgとする。
- 注6) 総窒素施用量上限値から注3のたい肥等有機物施用量下限値を差し引いて算出した化学肥料の施用量が2kg/10aを下回る場合は、窒素欠乏により初期生育が不良となる場合があることから、スターター窒素として化学肥料を2kg/10aを上限として施用しても差し支えないものとする。ただし、この場合における「たい肥等有機物施用に係る窒素換算量」は、「総窒素施用量」から2kgを差し引いた窒素換算量に相当する値とする。
- 注7) チコリの施肥量は伏せ込み以降の施肥量を示している。
- 注8) はくさいの「トンネル早春まき」については、収穫終了後、後作作物の作付けを励行するなど適切なほ場管理に努めるとともに、毎年度、土壌診断を実施するものとする。

4 たい肥施用量上限値 (kg/10a)	
作物区分	たい肥施用量上限値
年1作野菜畑	3.0
年2作以上野菜畑	5.0

- 注1) 作型「露地」のみ対象とする。
- 注2) たい肥施用量上限値は、「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」を施用した場合にのみ適用するものとする。
- 注3) 輪作を行っているほ場では、たい肥施用量上限値の算出に当たり、輪作内における平均値での対応も認めるものとする。
ただし、1年間の施用量が5t/10aを超えない範囲とする。例えば、年2作で、前年7t、当年2tでは認めない。
年1作で前年4t、当年2tは認めるものとする。
- 注4) アスパラガスの場合、たい肥等有機物施用量上限値は、数年間(3～5年程度)の平均値も認めるが、1年間の施用量が5tを超えないものとする。例えば、2年に1回たい肥を施用する場合は、1回に5t施用することができる。3年に1回施用する場合でも、1回に6tを施用することはできない。
- 注5) アスパラガスの場合、トレンチャーで施用する場合は、たい肥施用量上限値を適用しないものとする。

[参考:窒素肥沃度水準の分類]

土壌窒素肥沃度は土壌診断に基づき、露地栽培においては「生土培養窒素」又は「熱水抽出性窒素」の分析結果、ハウス栽培においては「硝酸態窒素」の分析結果により、以下のとおり適用するものとする。

区分	作型	低	中	高
生土培養窒素(mg/100g)	露地	1.5未満	1.5以上-2.5未満	2.5以上
熱水抽出性窒素(mg/100g)	露地	3未満	3以上-5未満	5以上
硝酸態窒素(mg/100g)	ハウス	5未満	5以上-10未満	10以上

- 注1) 「生土培養窒素」並びに「熱水抽出性窒素」は過去3年以内に分析された値を対象とする。
- 注2) 「硝酸態窒素」は過去1年以内に分析された値を対象とする。
- 注3) 生産集団における単数または複数の代表的な土壌区分を対象に分析するものとする。

[野菜類－長期どりの果菜類]

I ハウス

1 総窒素施用量上限値

(1) 窒素肥沃度「低」対応 (kg/10a)

作物名	追肥回数(回)								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
トマト	19.0	23.0	27.0	31.0	35.0	39.0	43.0	47.0	51.0
ミニトマト	22.0	24.0	26.0	28.0	30.0	32.0	34.0	36.0	38.0
きゅうり	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0	55.0			
ピーマン	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0			
ししとう	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0			
とうがらし(なんばん)	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0			

注) 総窒素施用量上限値(長期どりの果菜類(ハウス)の算出方法)を参考のこと。

(2) 窒素肥沃度「中」対応 (kg/10a)

作物名	追肥回数(回)								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
トマト	14.0	18.0	22.0	26.0	30.0	34.0	38.0	42.0	46.0
ミニトマト	17.0	19.0	21.0	23.0	25.0	27.0	29.0	31.0	33.0
きゅうり	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0	50.0			
ピーマン	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0			
ししとう	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0			
とうがらし(なんばん)	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0			

注) 総窒素施用量上限値(長期どりの果菜類(ハウス)の算出方法)を参考のこと。

(3) 窒素肥沃度「高」対応 (kg/10a)

作物名	追肥回数(回)								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
トマト	9.0	13.0	17.0	21.0	25.0	29.0	33.0	37.0	41.0
ミニトマト	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	22.0	24.0	26.0	28.0
きゅうり	20.0	25.0	30.0	35.0	40.0	45.0			
ピーマン	12.0	16.0	20.0	24.0	28.0	32.0			
ししとう	12.0	16.0	20.0	24.0	28.0	32.0			
とうがらし(なんばん)	12.0	16.0	20.0	24.0	28.0	32.0			

注) 総窒素施用量上限値(長期どりの果菜類(ハウス)の算出方法)を参考のこと。

[参考:総窒素施用量上限値(長期どりの果菜類(ハウス)の算出方法)]

(kg/10a)

作物名	総窒素施用量上限値(基肥+1回当たり追肥量×回数)						
	窒素肥沃度「低」		窒素肥沃度「中」		窒素肥沃度「高」		追肥回数の指針
	基肥	追肥	基肥	追肥	基肥	追肥	
トマト	15.0	4.0	10.0	4.0	5.0	4.0	収穫期間/15日
ミニトマト	20.0	2.0	15.0	2.0	10.0	2.0	収穫期間/15日
きゅうり	25.0	5.0	20.0	5.0	15.0	5.0	収穫期間/20日
ピーマン	15.0	5.0	10.0	5.0	8.0	4.0	収穫期間/30日
ししとう	15.0	5.0	10.0	5.0	8.0	4.0	収穫期間/30日
とうがらし(なんばん)	15.0	5.0	10.0	5.0	8.0	4.0	収穫期間/30日

注1) 総窒素施用量上限値の算出例

「トマト」で窒素肥沃度「低」、収穫期間75日とした場合の総窒素施用量上限値
 $75日(収穫期間) \div 15日(追肥1回当たりの収穫期間の指針) = 5回(追肥回数)$
 $15kg(基肥量) + [4kg(1回当たり追肥量) \times 5回(追肥回数)] = 35kg/10a$

注2) 総窒素施用量上限値は基肥と追肥の合計値とし、基肥、追肥別には適応しない。

注3) 収穫期間は1株当たり収穫期間とする。

2 たい肥等有機物施用量下限値

4 t/10a

注1) たい肥1t当たりの窒素換算量は1.5kgとする。この場合のたい肥とは、「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」をさす。ただし、ふん尿割合の高いたい肥を利用する場合には1t当たりの窒素換算量を2kgとする。

注2) たい肥に相当する有機物での対応も認めるものとする。

※「相当する有機物」の定義

- ・当該年有効である窒素がたい肥から供給される窒素と同等である有機物
- ・施用される乾物量がたい肥と同等である有機物

注3) 輪作を行っているほ場では、たい肥等有機物施用量下限値の算出に当たり、輪作内における平均値での対応も認めるものとする。例えば、露地で前年に5t、当該年に3t施用する場合には適合しているものとする。

3 化学肥料施用量上限値

(1) 窒素肥沃度「低」及び「中」対応

(kg/10a)

作物名	追 肥 回 数 (回)								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
トマト	8.0	12.0	16.0	20.0	24.0	28.0	32.0	36.0	40.0
ミニトマト	11.0	13.0	15.0	17.0	19.0	21.0	23.0	25.0	27.0
きゅうり	19.0	24.0	29.0	34.0	39.0	44.0			
ピーマン	9.0	14.0	19.0	24.0	29.0	34.0			
ししとう	9.0	14.0	19.0	24.0	29.0	34.0			
とうがらし(なんばん)	9.0	14.0	19.0	24.0	29.0	34.0			

注1) たい肥4t/10a(窒素成分6kg相当)を施用した場合の化学肥料施用量上限値である。

注2) 化学肥料施用量上限値＝「1 総窒素施用量上限値」－「2 たい肥等有機物施用量下限値に係る窒素換算量」とする。ただし、土壌肥沃度「中」、「高」の場合に適用し、窒素肥沃度水準が「低」場合は、たい肥などの有機物の施用による土づくりを進めるため、化学肥料施用量上限値は「中」の値を適用するものとする。

(2) 窒素肥沃度「高」対応

(kg/10a)

作物名	追 肥 回 数 (回)								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
トマト	3.0	7.0	11.0	15.0	19.0	23.0	27.0	31.0	35.0
ミニトマト	6.0	8.0	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	22.0
きゅうり	14.0	19.0	24.0	29.0	34.0	39.0			
ピーマン	6.0	10.0	14.0	18.0	22.0	26.0			
ししとう	6.0	10.0	14.0	18.0	22.0	26.0			
とうがらし(なんばん)	6.0	10.0	14.0	18.0	22.0	26.0			

注1) たい肥4t/10a(窒素成分6kg相当)を施用した場合の化学肥料施用量上限値である。

注2) 化学肥料施用量上限値＝「1 総窒素施用量上限値」－「2 たい肥等有機物施用量下限値に係る窒素換算量」

II 露地

1 総窒素施用量上限値

(1) 窒素肥沃度「低」対応 (kg/10a)

作物名	追肥回数(回)				
	1	2	3	4	5
なす	22.0	27.0	32.0	37.0	42.0
ピーマン	17.0	22.0	27.0	32.0	37.0

注) 総窒素施用量上限値(長期どりの果菜類(露地)の算出方法)を参考のこと。

(2) 窒素肥沃度「中」対応 (kg/10a)

作物名	追肥回数(回)				
	1	2	3	4	5
なす	17.0	19.0	21.0	23.0	25.0
ピーマン	15.0	20.0	25.0	30.0	35.0

注) 総窒素施用量上限値(長期どりの果菜類(露地)の算出方法)を参考のこと。

(3) 窒素肥沃度「高」対応 (kg/10a)

作物名	追肥回数(回)				
	1	2	3	4	5
なす	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0
ピーマン	12.0	16.0	20.0	24.0	28.0

注) 総窒素施用量上限値(長期どりの果菜類(露地)の算出方法)を参考のこと。

[参考:総窒素施用量上限値(長期どりの果菜類(露地)の算出方法)]

作物名	総窒素施用量上限値(基肥+1回当たり追肥量×回数)						追肥回数の指針
	窒素肥沃度「低」		窒素肥沃度「中」		窒素肥沃度「高」		
	基肥	追肥	基肥	追肥	基肥	追肥	
なす	17.0	5.0	15.0	2.0	10.0	2.0	収穫期間／15日
ピーマン	12.0	5.0	10.0	5.0	8.0	4.0	収穫期間／30日

注1) 総窒素施用量上限値の算出例

「なす」で窒素肥沃度「低」、収穫期間75日とした場合の総窒素施用量上限値

75日(収穫期間)÷15日(追肥1回当たりの収穫期間の指針)=5回(追肥回数)

17kg(基肥量)+[5kg(1回当たり追肥量)×5回(追肥回数)]=42kg/10a

注2) 総窒素施用量上限値は基肥と追肥の合計値とし、基肥、追肥別には適応しない。

注3) 収穫期間は1株当たり収穫期間とする。

2 たい肥等有機物施用量下限値

2t/10a

注1) たい肥1t当たりの窒素換算量は1kgとする。この場合のたい肥とは、「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」をさす。

注2) たい肥に相当する有機物での対応も認めるものとする。

※「相当する有機物」の定義

- ・当該年有効である窒素がたい肥から供給される窒素と同等である有機物
- ・施用される乾物量がたい肥と同等である有機物

注3) たい肥等有機物施用量の下限値は輪作内における平均値での対応も認めるものとする。例えば、前年に3t、当該年に1t施用する場合には適合しているものとする。

3 化学肥料施用量上限値

(kg/10a)

作物名	窒素肥沃度	追 肥 回 数 (回)				
		1	2	3	4	5
なす	低、中	15.0	17.0	19.0	21.0	23.0
	高	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0
ピーマン	低、中	13.0	18.0	23.0	28.0	33.0
	高	10.0	14.0	18.0	22.0	26.0

注1) たい肥2t/10a(窒素成分2kg相当)を施用した場合の化学肥料施用量上限値である。

注2) 化学肥料施用量上限値＝「1 総窒素施用量上限値」－「2 たい肥等有機物施用量下限値に係る窒素換算量」

注3) 窒素肥沃度水準が「低」の場合には、たい肥などの有機物の施用による土づくりを進めるため、化学肥料施用量上限値は、「中」の値を適用するものとする。

4 たい肥施用量上限値

3t/10a

注1) たい肥施用量上限値は「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」を施用した場合にのみ適用するものとする。

注2) たい肥施用量の上限値は輪作内での平均値も認めるが、1年間の施用量が5tを超えないものとする。例えば、2年に1回たい肥を施用する場合には、1回に5tまで施用することができる。しかし、3年に1回施用する場合でも、1回に6tを入れることはできない。

[参考:窒素肥沃度水準の分類]

土壌窒素肥沃度は土壌診断に基づき、露地栽培においては「生土培養窒素」又は「熱水抽出性窒素」の分析結果、ハウス栽培においては「硝酸態窒素」の分析結果に基づき、以下のとおり適用するものとする。

区 分	作型	低	中	高
生土培養窒素(mg/100g)	露地	1.5未満	1.5以上-2.5未満	2.5以上
熱水抽出性窒素(mg/100g)	露地	3未満	3以上-5未満	5以上
硝酸態窒素(mg/100g)	ハウス	5未満	5以上-10未満	10以上

注1) 「生土培養窒素」並びに「熱水抽出性窒素」は過去3年以内に分析された値を対象とする。

注2) 「硝酸態窒素」は過去1年以内に分析された値を対象とする。

注3) 生産集団における単数または複数の代表的な土壌区分を対象に分析するものとする。

注4) 分析結果により、数値にバラツキが生じた場合は、総窒素施用量上限値が最大となる項目を選択する。

[果樹]

総窒素施用量上限値と化学肥料施用量上限値

作物名	作型	総窒素施用量 上限値 (kg/10a)	たい肥等有機物 施用量下限値 (t/10a)	化学肥料施用量 上限値 (kg/10a)
りんご	露地	7.0	2.0	5.0
なし	日本種	16.0	2.0	14.0
	西洋種	12.0	2.0	10.0
ぶどう	生食用	11.0	2.0	9.0
	醸造用	8.0	2.0	6.0
おうとう	露地	12.0	2.0	10.0
プルーン	露地	12.0	2.0	10.0
ハスカップ	露地	8.0	2.0	6.0
ブルーベリー	露地	8.0	2.0	6.0

注1) 有機物施用は表層に限られ、効果の発現が遅れるので、施用した有機物は当該年ではなく、翌年の積算対象とする。

注2) 化学肥料施用量上限値は、たい肥1t/10a(窒素成分1kg相当)を施用した場合の値である。
ここでのたい肥とは、「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」をさす。

注3) 化学肥料施用量上限値＝「1 総窒素施用量上限値」－「2 たい肥等有機物施用量下限値に係る窒素換算量」

注4) たい肥に相当する有機物での対応も認めるものとする。

※「相当する有機物」の定義

- ・当年有効である窒素がたい肥から供給される窒素と同等である有機物
- ・施用される乾物量がたい肥と同等である有機物

注5) 施設栽培の場合も作型「露地」の総窒素施肥量、化学肥料施肥量を準用する。果樹の場合、たい肥施用は表層に限定され減耗が遅いため、施設栽培におけるたい肥の施用量も露地と同じ2t/10aとする。

注6) たい肥施用量上限値は数年間(3～5年程度)の平均値も認めるが、1年間の施用量が5tを超えないものとする。

例えば、2年に1回たい肥を施用する場合には、1回に5t施用することができる。3年に1回施用する場合でも、1回に6tを施用することはできない。

[別表 3－1]

化学合成農薬の使用基準

1 農薬の使用

(1) 北海道農作物病害虫防除ガイド、除草剤使用ガイド及び植物成長調整剤使用ガイド（以下「防除ガイド」という。）で指導している農薬を優先的に使用していること。ただし、防除ガイドに依りがたい場合は、農薬取締法に基づき農林水産大臣の登録又は指定を受けている農薬を使用していること。

(2) 前作の農産物の収穫後から当該農産物の作付けまでの期間のほ場管理、及び当該農産物の生産過程（当該農産物の種苗及び収穫物の調製を含む。）において使用した化学合成農薬の延べ有効成分使用回数が別表 3－3 の基準を満たしていること。

2 化学合成農薬の範囲等

(1) 有効成分使用回数の対象となる化学合成農薬は、「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」（平成 4 年 10 月 1 日付け 4 食流第 3889 号総合食料局長、生産局長、食糧庁長官通知）に準じ、次に掲げる農薬は除くものとする。

① 化学合成されていない農薬（天敵などの生物農薬等）

② 農薬取締法第 2 条第 1 項に基づく特定農薬（重曹・食酢など）

③ 次に掲げる化学合成農薬

ア 性フェロモン剤等誘引剤

イ 展着剤など病害虫や農産物の生理機能の調整に直接作用しないもの

ウ 農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律施行令第 10 条第 1 号の農林水産大臣が定める化学的に合成された農薬（平成 12 年 7 月 14 日農林水産省告示第 1005 号、最終改正：平成 24 年 3 月 28 日農林水産省告示第 837 号）

〔 硫黄くん煙剤、硫黄粉剤、硫黄・銅水和剤、還元澱粉糖化物液剤、食酢、水和硫黄剤、生石灰、性フェロモン剤、石灰硫黄合剤、炭酸水素カリウム水溶剤、炭酸水素ナトリウム、水溶剤及び重曹、炭酸水素ナトリウム・銅水和剤、展着剤、天敵等生物農薬・銅水和剤、銅粉剤、二酸化炭素くん蒸剤、メタアルデヒド粒剤、硫酸銅、磷酸第二鉄粒剤並びにワックス水和剤 〕

(2) 化学合成農薬の使用回数は、農薬の有効成分毎にカウントする。

(3) 複数の有効成分を含んでいる混合剤の場合は、有効成分の延べ回数でカウントする。

3 その他

作型を判断する場合には、別表 3－2 の地域別の「は種期」「定植期」「収穫期」を参考にすること。

〔別表3－2〕

「化学合成農薬の使用基準」の作型について

類別	作物名	作型名	道央地域						道南地域						道東・道北地域					
			は種期		定植期		収穫期		は種期		定植期		収穫期		は種期		定植期		収穫期	
			始	終	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終
その他 畑作物	ばれいしょ	べたがけ・7月どり	3/15	4/30	—	—	7/20	8/10	3/15	4/30	—	—	7/15	7/31	3/15	4/30	—	—	7/20	8/10
		露地・普通栽培	4/25	5/15	—	—	8/15	9/30	4/20	5/10	—	—	8/10	9/30	5/1	5/20	—	—	8/25	9/30
果菜類	トマト	加温越冬	10/5	10/25	12/15	12/20	3/5	7/20	10/5	10/25	12/15	12/20	3/5	7/20	—	—	—	—	—	—
		促成・半促成	1/10	2/10	3/10	4/10	5/20	7/31	12/10	1/31	2/10	3/31	4/10	7/20	1/10	2/10	3/10	4/10	5/20	7/31
		ハウス長期どり・夏秋どり	2/10	3/31	4/15	5/31	6/10	10/31	2/10	3/31	4/15	5/31	6/10	10/31	2/15	4/10	4/20	6/10	6/15	10/20
		ハウス抑制	6/5	6/15	7/25	8/5	9/20	11/30	5/20	6/15	7/10	8/5	9/10	11/30	—	—	—	—	—	—
	ミニトマト	ハウス長期どり・夏秋どり	2/10	3/31	4/15	5/31	6/10	10/31	2/10	3/31	4/15	5/31	6/10	10/31	2/15	4/10	4/20	6/10	6/15	10/20
	きゅうり	促成・半促成	2/1	3/15	3/1	4/25	5/1	7/31	2/1	3/5	3/1	4/15	5/1	7/20	2/1	3/20	3/1	4/30	5/1	7/3
		ハウス長期どり・夏秋どり	3/25	4/1	5/5	5/10	6/5	10/20	4/1	5/5	5/10	6/10	6/15	10/20	3/25	4/1	5/5	5/10	6/15	10/20
		ハウス抑制	7/5	7/10	8/1	8/5	9/1	11/20	7/10	7/15	8/5	8/10	9/5	11/30	7/1	7/5	7/25	7/31	8/25	11/10
	かぼちゃ	露地	4/20	5/31	5/20	6/5	7/25	9/15	4/1	5/25	5/1	5/25	7/15	9/15	4/25	6/5	5/25	6/15	8/1	9/15
		露地・長期どり	4/20	5/5	5/15	5/31	7/15	10/20	4/1	4/20	4/25	5/15	7/5	10/20	4/25	5/10	5/20	6/5	7/20	10/10
	スイートコーン	半促成・トンネル・露地7月どり	3/10	4/25	4/1	5/15	6/25	8/5	3/10	4/25	4/1	5/15	6/25	8/5	—	—	—	—	—	—
		露地8・9月どり	5/10	6/20	—	—	8/15	10/15	5/5	6/20	—	—	8/10	10/5	5/15	6/15	—	—	8/20	9/30
	さやいんげん	半促成	3/10	3/20	4/10	4/20	6/10	7/30	3/10	3/20	4/10	4/20	6/1	7/20	—	—	—	—	—	—
		露地・抑制	4/10	7/20	5/10	8/10	7/5	10/10	4/1	7/31	5/1	8/10	6/25	10/25	6/5	7/10	—	—	8/10	9/25
	さやえんどう	露地・春まき(収穫期間1か月)	5/10	5/31	—	—	7/10	8/10	5/1	5/31	—	—	7/1	7/31	5/20	6/5	—	—	7/20	8/20
	ししとう	ハウス栽培	1/25	3/10	4/15	5/15	5/20	10/31	1/15	3/5	4/5	5/10	5/10	11/10	1/25	3/10	4/15	5/15	5/20	10/31
		とうがらし(なんばん)	ハウス栽培	1/25	3/10	4/10	5/25	5/15	10/31	1/15	3/5	4/5	5/20	5/10	11/10	1/25	3/10	4/10	5/25	5/15
葉茎菜類	たまねぎ	春まき・早生品種	3/1	3/15	5/1	5/10	8/15	9/5	2/25	3/10	4/25	5/5	8/15	9/5	3/5	3/15	5/5	5/15	8/20	9/10
		春まき・中・晩生品種	3/1	3/15	5/1	5/10	9/5	9/30	2/25	3/10	4/25	5/5	9/5	9/30	3/5	3/15	5/5	5/15	9/15	10/5
		秋まき	8/1	8/10	9/25	10/5	7/25	8/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ねぎ	簡易軟白・春夏どり	7/1	3/31	9/1	6/10	3/1	9/30	7/1	3/31	9/1	6/10	3/1	9/30	11/20	3/31	2/20	6/10	6/1	9/30
		簡易軟白・秋冬どり	5/20	6/10	7/20	8/10	11/1	2/28	5/20	6/10	7/20	8/10	11/1	2/28	—	—	—	—	—	—
		ねぎ・ハウス早春まき	—	—	—	—	—	—	1/5	2/10	4/15	5/10	7/20	8/10	—	—	—	—	—	—
		ねぎ・夏秋どり	3/15	4/25	5/25	7/5	8/10	10/31	3/15	4/25	5/25	7/5	8/10	10/31	4/5	4/25	6/15	7/5	8/25	10/31
	小ねぎ	ハウス・露地	11/5	8/15	3/15	8/10	5/15	10/31	11/1	8/20	3/10	8/15	5/1	11/5	11/5	8/15	3/15	8/10	5/15	10/31
	はくさい	ハウス早春まき	—	—	—	—	—	—	2/10	2/15	3/10	3/20	5/5	5/20	—	—	—	—	—	—
		トンネル早春まき	—	—	—	—	—	—	2/25	3/10	4/5	4/20	5/15	6/10	—	—	—	—	—	—
		露地・晩春・夏どり	3/1	5/25	4/10	6/25	5/25	8/15	3/5	5/25	4/15	6/25	5/25	8/15	3/5	5/31	4/15	6/30	6/1	8/20
		露地・秋どり	6/20	7/31	7/1	8/20	9/5	10/20	6/15	8/5	7/5	8/31	9/1	10/25	7/1	7/15	7/20	8/5	9/10	10/15
	キャベツ	ハウス・トンネル	2/15	2/25	4/5	4/15	5/25	6/10	1/10	2/20	2/20	4/10	4/25	6/5	—	—	—	—	—	—
		6・7月どり	4/1	5/5	5/1	6/5	6/10	7/25	3/20	4/30	4/20	5/31	6/5	7/20	4/5	5/10	5/5	6/10	6/15	7/31
		8月どり	5/10	5/20	6/5	6/15	8/10	8/25	5/5	5/15	6/1	6/10	8/5	8/20	5/15	5/25	6/10	6/20	8/15	8/31
		夏秋どり	5/30	6/25	6/25	7/25	9/1	10/10	6/1	6/30	6/25	7/31	9/1	10/15	5/25	6/20	6/20	7/20	8/25	10/5
		ほうれんそう	ハウス春どり、雨よけ(6月どり)	2/15	4/30	—	—	4/15	6/20	2/15	4/30	—	—	4/15	6/20	2/15	4/30	—	—	4/15
	ほうれんそう	雨よけ(7、8月どり)	5/1	7/20	—	—	6/10	8/20	5/1	7/20	—	—	6/10	8/20	5/1	7/20	—	—	6/10	8/20
		雨よけ(9月どり)	7/21	8/20	—	—	8/20	9/30	7/21	8/20	—	—	8/20	9/30	7/21	8/20	—	—	8/20	9/30
		ハウス(10～12月どり)	8/21	10/10	—	—	9/30	12/31	8/21	10/15	—	—	9/30	12/31	8/21	10/5	—	—	9/30	12/20
		ハウス越冬	10/1	1/31	—	—	1/20	3/31	10/1	1/31	—	—	1/20	3/31	10/1	1/20	—	—	1/20	3/21
		チコリ	露地	6/1	6/10	7/10	7/20	10/15	11/15	6/1	6/10	7/10	7/20	10/15	11/20	6/5	6/10	7/15	7/20	10/20
	サンチュ	ハウス栽培	3/1	7/30	3/25	8/10	4/20	10/30	3/1	7/30	3/25	8/10	4/15	11/10	3/5	7/25	4/1	8/15	4/25	10/20
	モロヘイヤ	半促成	3/20	3/31	4/20	5/5	6/1	10/15	3/10	3/20	4/10	4/25	5/25	10/31	3/25	4/5	4/25	5/10	6/5	10/10
	みつば	軟化みつば	6/20	6/30	10/25	11/5	12/20	3/10	6/20	7/10	10/25	11/20	12/20	3/10	6/20	6/30	10/25	11/5	12/15	3/10
	しゅんぎく	抜き取り	2/10	9/10	—	—	4/20	11/15	2/1	9/30	—	—	4/10	12/5	4/1	8/31	—	—	6/1	11/5
		摘み取り	2/10	7/31	3/10	8/20	4/1	12/10	2/1	8/10	3/1	8/31	3/20	12/20	6/20	7/20	7/10	8/10	8/1	11/30
みずな	ハウス春どり	1/25	4/5	3/1	4/25	4/1	5/25	1/25	4/5	3/1	4/25	4/1	5/25	1/25	4/5	3/1	4/25	4/1	5/25	
	ハウス夏どり	4/10	7/1	5/5	7/25	6/1	9/5	4/10	7/1	5/5	7/25	6/1	9/5	4/10	7/1	5/5	7/25	6/1	9/5	
	ハウス秋どり	7/10	9/10	8/5	10/10	9/1	12/10	7/10	9/15	8/5	10/15	9/1	12/20	7/10	9/10	8/5	10/10	9/1	12/10	
こまつな	ハウス(4、5月どり)	3/10	3/25	—	—	4/25	5/15	3/1	3/25	—	—	4/15	5/15	3/10	3/25	—	—	4/25	5/15	
	ハウス6月どり	4/25	5/15	—	—	6/5	6/30	4/25	5/15	—	—	6/5	6/30	4/25	5/15	—	—	6/5	6/30	
	ハウス7～9月どり	6/1	8/31	—	—	7/5	9/30	6/1	8/31	—	—	7/5	9/30	6/1	8/31	—	—	7/5	9/30	
	ハウス10月どり	9/5	9/15	—	—	10/20	11/5	9/5	9/25	—	—	10/20	11/15	9/5	9/15	—	—	10/20	11/5	
	露地・トンネル	5/15	8/20	—	—	7/5	10/5	5/5	8/25	—	—	6/25	10/10	5/20	8/15	—	—	7/10	9/30	
チンゲンサイ	ハウス春どり	2/1	3/5	3/1	4/5	4/1	5/15	2/1	3/1	3/1	4/1	4/1	5/10	2/1	3/5	3/1	4/5	4/1	5/15	
	ハウス夏どり	3/10	7/20	4/10	8/15	5/15	9/15	3/10	7/20	4/10	8/15	5/15	9/15	3/10	7/20	4/10	8/15	5/15	9/15	
	ハウス秋どり	7/15	9/5	8/5	10/1	9/5	12/5	7/15	9/10	8/5	10/5	9/5	12/10	7/15	9/5	8/5	10/1	9/5	12/5	
	露地	4/5	8/5	4/20	8/15	5/20	9/15	—	—	—	—	—	—	5/5	8/1	6/1	8/20	6/25	9/15	

類別	作物名	作型名	道央地域						道南地域						道東・道北地域					
			は種期		定植期		収穫期		は種期		定植期		収穫期		は種期		定植期		収穫期	
			始	終	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終	始	終
葉菜類	ターサイ	ハウス春どり	1/25	3/25	2/25	4/25	4/5	6/5	1/20	3/31	2/20	4/20	4/1	5/31	1/25	3/25	2/25	4/25	4/5	6/5
		ハウス・露地夏どり	4/25	7/10	5/20	8/5	6/10	9/10	4/25	7/10	5/20	8/5	6/10	9/10	4/25	7/10	5/20	8/5	6/10	9/10
		ハウス・露地秋どり	7/15	9/5	8/10	10/5	9/5	12/5	7/15	9/5	8/10	10/10	9/5	12/10	7/15	9/5	8/1	10/5	9/5	12/5
	あさつき	ハウス	—	—	8/5	8/20	1/5	3/31	—	—	8/5	8/20	1/5	3/31	—	—	8/5	8/20	1/5	3/31
	にら	ハウス収穫1年目	—	—	8/20	9/10	3/10	5/5	—	—	6/20	7/10	1/10	5/5	—	—	8/25	9/5	3/20	5/15
		ハウス収穫2年目	—	—	—	—	3/10	5/5	—	—	—	—	1/10	5/5	—	—	—	—	3/20	5/15
	食用ゆり	露地(秋植え)	—	—	9/25	9/30	9/20	11/10	—	—	9/25	9/30	9/20	11/15	—	—	9/25	9/30	9/20	11/5
		露地(春植え)	—	—	4/20	5/5	9/20	11/10	—	—	4/20	5/5	9/20	11/15	—	—	5/1	5/15	9/20	11/5
根菜類	だいこん	ハウス・トンネル	4/10	4/20	—	—	6/10	6/20	2/25	4/15	—	—	5/1	6/5	—	—	—	—	—	—
		露地・春まき	4/21	7/10	—	—	6/25	9/5	4/20	7/5	—	—	6/25	8/31	4/25	7/15	—	—	7/1	9/10
		露地・夏まき	7/11	8/15	—	—	9/5	10/31	7/6	8/20	—	—	9/1	11/5	7/16	8/10	—	—	9/11	10/25
	にんじん	春まき(トンネル、露地)	4/5	4/30	—	—	7/10	8/20	4/1	4/30	—	—	7/5	8/15	—	—	—	—	—	—
		春夏まき	5/5	6/10	—	—	9/1	10/31	5/1	6/30	—	—	8/20	10/31	5/1	6/10	—	—	8/10	10/31
	かぶ	ハウス・トンネル	4/1	4/10	—	—	6/1	6/10	2/5	3/31	—	—	4/20	5/31	4/10	4/20	—	—	6/10	6/20
		露地春まき・夏まき	4/20	8/25	—	—	6/15	10/20	4/10	8/25	—	—	6/5	10/20	4/25	8/25	—	—	6/20	10/15
	はつかだいこん	ハウス栽培	2/20	9/25	—	—	4/1	10/31	2/10	10/5	—	—	3/25	11/10	2/20	9/25	—	—	4/1	10/31
果実的野菜	すいか	半促成	3/10	3/25	4/15	5/15	6/25	7/25	3/10	3/20	4/20	4/30	7/5	7/20	—	—	—	—	—	—
		トンネル	4/10	4/20	5/15	5/25	8/5	8/20	4/1	4/10	5/10	5/20	8/1	8/15	4/15	4/25	5/20	5/31	8/10	8/25
	メロン	促成・半促成(7月どり)	3/5	3/31	4/5	4/30	7/5	7/25	3/5	3/25	4/5	4/25	7/5	7/20	3/5	4/5	4/5	5/5	7/5	7/31
		トンネル(8月どり)	4/15	4/25	5/15	5/25	8/5	8/15	4/10	4/20	5/10	5/20	8/1	8/10	4/20	4/30	5/20	5/31	8/10	8/20
		抑制(9、10月どり)	5/25	6/25	6/20	7/20	9/20	10/31	5/25	6/25	6/20	7/20	9/20	10/31	5/25	6/20	6/20	7/15	9/20	10/25
	まくわうり	露地	4/15	5/10	5/15	6/10	7/20	8/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		半促成	3/20	4/20	4/20	5/20	6/20	7/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	いちご	促成	—	—	8/20	8/31	3/1	6/25	—	—	8/25	9/5	2/20	6/20	—	—	8/15	8/25	3/1	6/30
		半促成	—	—	8/20	8/31	5/20	6/20	—	—	8/25	9/5	5/15	6/15	—	—	8/20	8/31	5/25	6/15
		トンネル・露地	—	—	8/20	8/31	6/10	7/20	—	—	8/25	9/5	6/1	7/15	—	—	8/20	8/31	6/10	7/25
		夏秋どり(ハウス)・秋定植	—	—	8/20	8/31	5/25	11/25	—	—	8/25	9/5	5/20	11/30	—	—	8/15	8/25	6/1	11/20
		夏秋どり(ハウス)・春定植	—	—	4/20	5/31	7/1	11/20	—	—	4/20	5/31	7/1	11/20	—	—	4/20	5/31	7/1	11/20
洋菜類	ピーマン	ハウス長期どり	1/25	2/5	4/15	4/25	5/20	10/20	1/15	1/25	4/5	4/15	5/10	10/31	1/25	2/5	4/15	4/25	5/20	10/10
		露地	2/20	4/5	5/10	6/15	6/15	9/30	2/10	3/31	5/1	6/10	6/5	10/10	2/20	4/5	5/10	6/15	6/20	9/20
	レタス	ハウス・トンネル・露地6月どり	1/25	3/15	3/5	4/15	5/10	6/20	1/5	3/10	2/15	4/10	4/20	6/15	2/5	3/31	3/15	4/30	5/20	7/5
		露地7・8月どり	4/15	6/30	5/10	7/25	7/5	8/31	4/10	6/20	5/5	7/15	7/1	8/25	4/20	6/30	5/15	7/25	7/10	8/31
		露地9月どり	7/1	7/31	7/26	8/20	9/1	11/5	7/10	8/10	8/5	8/31	9/25	11/15	7/1	7/25	7/26	8/20	9/1	10/10
	リーフレタス	ハウス春どり	2/1	3/25	3/5	4/20	4/1	5/31	2/1	3/25	3/1	4/20	3/25	5/31	2/1	4/1	3/5	4/25	4/1	5/31
		ハウス・露地夏どり	4/10	7/5	5/1	8/1	6/1	9/10	4/10	7/5	5/1	8/1	6/1	9/10	4/10	7/5	5/1	8/1	6/1	9/10
		ハウス・露地秋どり	7/10	9/5	8/5	10/1	9/1	12/5	7/10	9/10	8/5	10/5	9/1	12/10	7/10	9/5	8/5	10/1	9/1	12/5
	サラダナ	ハウス春どり	1/25	3/25	2/25	4/25	4/5	6/5	1/20	3/25	2/20	4/15	4/1	5/31	1/25	3/25	2/25	4/25	4/5	6/5
		ハウス・露地夏どり	4/20	7/5	5/15	8/5	6/5	9/10	4/20	7/5	5/15	8/5	6/5	9/10	4/20	7/5	5/15	8/5	6/5	9/10
		ハウス・露地秋どり	7/10	9/5	8/1	10/5	9/1	11/25	7/10	9/5	8/1	10/10	9/1	11/30	7/10	9/5	8/1	10/5	9/1	11/25
	セルリー	ハウス促成	11/25	1/20	3/1	4/30	5/15	7/20	12/1	1/20	3/1	4/30	5/1	7/20	12/25	1/20	3/20	4/30	6/10	7/20
		トンネル・露地	2/15	4/30	5/15	7/15	7/25	10/10	2/1	4/30	5/1	7/15	7/15	10/20	2/25	4/15	5/20	6/25	8/1	10/5
		ハウス抑制	5/1	5/31	7/20	8/5	10/10	11/10	5/1	5/31	7/20	8/10	10/10	11/20	—	—	—	—	—	—
	ブロッコリー	露地6月どり	2/28	4/10	4/15	5/10	6/10	7/10	2/20	4/5	4/5	5/5	6/1	7/5	3/20	4/15	4/20	5/15	6/20	7/15
		露地7月どり	4/10	5/5	5/10	6/5	7/10	7/25	4/5	4/30	5/5	5/31	7/5	7/20	4/15	5/10	5/15	6/10	7/15	7/31
		露地8月どり	5/10	6/5	6/5	6/30	7/25	8/25	5/5	5/31	6/1	6/25	7/20	8/20	5/15	6/10	6/10	7/5	8/1	8/31
		露地9月どり	6/5	6/30	7/1	7/25	8/25	9/20	6/5	6/30	7/1	7/25	8/25	9/20	6/10	7/1	7/5	7/30	8/30	9/25
		露地10月どり	7/10	7/25	8/5	8/20	10/1	10/25	7/10	7/30	8/5	8/25	10/1	10/30	7/10	7/25	8/5	8/20	10/1	10/25
	アスパラガス	ハウス、トンネル、露地	—	—	—	—	3/15	7/10	—	—	—	—	3/10	7/10	—	—	—	—	3/20	7/10
		立茎(ハウス・露地)	—	—	—	—	4/5	9/25	—	—	—	—	3/20	9/30	—	—	—	—	4/10	9/20
	カリフラワー	早春まきトンネル	3/5	3/15	4/25	5/5	6/10	6/15	2/15	2/25	4/5	4/15	5/25	6/10	3/15	3/25	5/5	5/15	6/15	6/20
		春夏まき	3/20	6/20	5/1	7/15	7/5	10/20	3/15	6/25	5/1	7/20	7/1	10/31	4/10	6/15	5/20	7/10	7/10	10/10
果樹	りんご	中生種	—	—	—	—	9/15	10/10	—	—	—	—	9/15	10/10	—	—	—	—	9/15	10/10
		晩生種	—	—	—	—	10/11	11/10	—	—	—	—	10/11	11/10	—	—	—	—	10/11	11/10
	なし	日本種	—	—	—	—	10/1	10/20	—	—	—	—	10/1	10/20	—	—	—	—	10/1	10/20
		西洋種	—	—	—	—	9/1	10/20	—	—	—	—	9/1	10/20	—	—	—	—	9/1	10/20
	ぶどう	生食用・ハウス栽培	—	—	—	—	7/20	9/30	—	—	—	—	7/20	9/30	—	—	—	—	7/20	9/30
		生食用・露地栽培	—	—	—	—	8/20	10/20	—	—	—	—	8/20	10/20	—	—	—	—	8/20	10/20
		醸造用	—	—	—	—	9/20	10/20	—	—	—	—	9/20	10/20	—	—	—	—	9/20	10/20
	ブルーベリー	早生～中生品種	—	—	—	—	8/5	8/31	—	—	—	—	8/5	8/31	—	—	—	—	8/5	8/31
		中生～晩生品種	—	—	—	—	9/1	10/15	—	—	—	—	9/1	10/15	—	—	—	—	9/1	10/15

注1) 「化学合成農薬の使用基準(別表3-3)」の作型に係る地域別の平均的な作期を示したものであり、地域の栽培実態により当該期間が前後する場合がある。

注2) 「地域」は次のとおりとする。

道央地域: 石狩、後志、空知、胆振、日高管内

道南地域: 渡島、檜山管内

道東・道北地域: 上川、留萌、宗谷、十勝、網走、釧路、根室

[別表3-3]

化 学 合 成 農 薬 の 使 用 基 準

(単位：回)

類別	作物名	作型	化学合成農薬 の延べ有効 成分使用回数 (使用基準)	[参考] 化学合成農薬の 延べ有効 成分使用回数 (慣行レベル)
水稻	水稻	うるち(移植)	11 以下	22
		うるち(直播)	14 以下	22
		もち(移植)	11 以下	21
麦類	秋まき小麦	秋まき	10 以下	15
	春まき小麦	普通まき	10 以下	12
		初冬まき	8 以下	11
豆類	大豆	露地	11 以下	13
	小豆	露地	11 以下	14
	菜豆	高級菜豆	9 以下	11
		手亡類	7 以下	15
その他畑作物	ばれいしょ	ベタがけ・7月どり	6 以下	8
		露地・普通栽培	12 以下	21
	そば	露地	0	1
	てんさい	移植栽培	16 以下	20
	ひまわり	露地	0	3
果菜類	トマト	加温越冬	19 以下	39
		促成・半促成	14 以下	21
		ハウス長期どり・夏秋どり	17 以下	24
		ハウス抑制	13 以下	22
	ミニトマト	ハウス長期どり・夏秋どり	17 以下	23
	きゅうり	促成・半促成	11 以下	40
		ハウス長期どり・夏秋どり	26 以下	33
		ハウス抑制	26 以下	49
	なす	トンネル・露地	6 以下	12
	かぼちゃ	露地	5 以下	8
		露地・長期どり	7 以下	12
	えだまめ	露地	7 以下	13
	スイートコーン	半促成・トンネル・露地7月どり	5 以下	8
		露地8、9月どり	10 以下	12
	さやいんげん	半促成	4 以下	7
		露地・抑制	7 以下	9
	さやえんどう	露地・春まき(収穫期間1か月)	9 以下	12
	ししとう	ハウス栽培	8 以下	13
	とうがらし	ハウス栽培	7 以下	10
葉茎菜類	たまねぎ	春まき・早生品種	14 以下	28
		春まき・中、晩生品種	18 以下	30
		秋まき	4 以下	5
	ねぎ	簡易軟白・春夏どり	9 以下	14
		簡易軟白・秋冬どり	9 以下	14
		ねぎ・ハウス早春まき	9 以下	16
		ねぎ・夏秋どり	15 以下	19
	小ねぎ	ハウス・露地	8 以下	11
	はくさい	ハウス早春まき	4 以下	7
		トンネル早春まき	8 以下	11
		露地・晩春・夏どり	15 以下	17
		露地・秋どり	15 以下	17

				(単位：回)
類別	作物名	作型	化学合成農薬 の延べ有効 成分使用回数 (使用基準)	[参考] 化学合成農薬の 延べ有効 成分使用回数 (慣行レベル)
葉茎菜類	キャベツ	ハウス・トンネル	4 以下	5
		6・7月どり	11 以下	16
		8月どり	15 以下	17
		夏秋どり	16 以下	19
	ほうれんそう	ハウス春どり、雨よけ(6月どり)	6 以下	10
		雨よけ(7、8月どり)	7 以下	9
		雨よけ(9月どり)	7 以下	8
		ハウス(10～12月どり)	7 以下	9
		ハウス越冬	6 以下	9
	チコリ	露地	0	0
	サンチュ	ハウス栽培	0	0
	モロヘイヤ	半促成	1 以下	2
	にんにく	露地	8 以下	21
	みつば	軟化みつば	5 以下	16
	しゅんぎく	抜き取り	3 以下	6
		摘み取り	5 以下	8
	みずな	ハウス春どり	4 以下	10
		ハウス夏どり	6 以下	10
		ハウス秋どり	5 以下	10
	こまつな	ハウス(4、5月どり)	3 以下	6
		ハウス6月どり	4 以下	6
		ハウス7～9月どり	4 以下	6
		ハウス10月どり	4 以下	6
		露地・トンネル	4 以下	7
	チンゲンサイ	ハウス春どり	4 以下	8
		ハウス夏どり	8 以下	10
		ハウス秋どり	7 以下	10
		露地	9 以下	13
	ターサイ	ハウス春どり	4 以下	12
		ハウス・露地夏どり	8 以下	18
		ハウス・露地秋どり	7 以下	18
	あさつき	ハウス	4 以下	6
	にら	ハウス収穫1年目	12 以下	17
		ハウス収穫2年目	14 以下	20
	食用ゆり	露地	18 以下	30
根菜類	だいこん	ハウス・トンネル	6 以下	14
		露地・春まき	7 以下	12
		露地・夏まき	8 以下	15
	にんじん	春まき(トンネル、露地)	5 以下	9
		春夏まき	6 以下	10
	ごぼう	露地	5 以下	8
	かぶ	ハウス・トンネル	5 以下	7
		露地春まき・夏まき	6 以下	11
	はつかだいこん	ハウス栽培	4 以下	8
	ながいも	露地	3 以下	10
果実的野菜	すいか	半促成	9 以下	12
		トンネル	10 以下	15

				(単位：回)
類別	作物名	作型	化学合成農薬 の延べ有効 成分使用回数 (使用基準)	[参考] 化学合成農薬の 延べ有効 成分使用回数 (慣行レベル)
果実的野菜	メロン	促成・半促成(7月どり)	11 以下	14
		トンネル(8月どり)	12 以下	16
		抑制(9、10月どり)	12 以下	17
	まくわうり	半促成	7 以下	13
		露地	7 以下	16
	いちご	促成	20 以下	30
		半促成	11 以下	18
		トンネル・露地	10 以下	14
		夏秋どり(ハウス)・秋定植	22 以下	34
		夏秋どり(ハウス)・春定植	21 以下	23
洋菜類	ピーマン	ハウス長期どり	11 以下	15
		露地	9 以下	12
	レタス	ハウス・トンネル・露地6月どり	3 以下	5
		露地7・8月どり	6 以下	8
		露地9月どり	7 以下	9
	リーフレタス	ハウス春どり	3 以下	6
		ハウス・露地夏どり	8 以下	10
		ハウス・露地秋どり	7 以下	10
	サラダナ	ハウス春どり	3 以下	9
		ハウス・露地夏どり	8 以下	14
		ハウス・露地秋どり	7 以下	14
	セルリー	ハウス促成	12 以下	14
		トンネル・露地	13 以下	15
		ハウス抑制	15 以下	20
	ブロッコリー	露地6月どり	5 以下	8
		露地7月どり	7 以下	10
		露地8月どり	10 以下	13
		露地9月どり	8 以下	13
		露地10月どり	7 以下	10
	アスパラガス	ハウス・トンネル・露地	10 以下	11
		立茎ハウス	8 以下	16
		立茎露地	9 以下	15
	カリフラワー	早春まきトンネル	3 以下	5
		春夏まき	10 以下	12
果樹	りんご	中生種	24 以下	31
		晩生種	24 以下	31
	なし	日本種	16 以下	21
		西洋種	17 以下	22
	ぶどう	生食用・ハウス栽培	14 以下	22
		生食用・露地栽培	16 以下	24
		醸造用	12 以下	17
	おうとう	露地	16 以下	20
	ブルーン	早生～中成品種	20 以下	24
		中生～晩成品種	22 以下	28
	ハスカップ	露地	2 以下	4
	ブルーベリー	露地	2 以下	3

注1) 農薬の成分使用回数には、殺菌剤・殺虫剤・除草剤・植物成長調整剤を含む。

・殺菌剤：殺菌作用をもつ薬剤

・殺虫剤：殺虫作用をもつ薬剤

・除草剤：雑草の枯殺、またはその正常な生育を阻害する目的で使用される薬剤

・植物成長調整剤：作物の生長過程に現れる発芽、発根、伸長、花芽の分化、開花結実、落葉などの現象を促進あるいは抑制する薬剤

注2) 購入種子・種苗についてもカウントの対象とする。

注3) 慣行レベルは、北海道内の各地域で慣行的に行われている化学合成農薬の使用回数をいう。

[参考1]

たい肥等有機物の窒素換算量及び乾物重の目安

1 たい肥類

種 類	窒素換算量(kg/t)	乾物重(kg/t)
牛ふん麦稈たい肥、牛ふん敷料たい肥	1.0	300
馬ふんたい肥	0.5	300
豚ふんたい肥	2.0	400
バークたい肥、もみがらたい肥	0.0	400
稲わらたい肥	1.0	300
下水汚泥コンポスト・高分子系	4.0	800
下水汚泥コンポスト・石灰系	3.6	850
生ゴミたい肥	1.0	400

- 注1) ふん尿割合の高いバークたい肥は「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」に準じる。
 注2) 施設栽培に限り、「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」及び「牛ふん混合割合の高いバークたい肥」の窒素換算量を1.5kg/10a とする。
 注3) ふん尿割合の低い豚ふんたい肥は「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」に準じる。
 注4) 下水汚泥コンポストの施用上限値(乾物重)は高分子系0.5t、石灰系1.0tとする。

2 液状有機物及びふん尿類

種 類	単位	窒素換算量(kg/単位)	乾物重(kg/単位)
牛ふんスラリー	1t	1.3	80
豚ふんスラリー	1t	1.3	30
牛尿	1t	2.5	30
豚尿	1t	2.0	30
でんぷん廃液	1t	1.2	50
乾燥鶏ふん	100kg	1.3	90
発酵鶏ふん	100kg	1.3	80
生鶏ふん	100kg	1.0	25

注) ペレット状に整形した鶏ふんは乾燥鶏ふんに準ずる。

3 緑肥

種 類		生産量上限値 (kg/10a)	乾物率(%)	窒素換算量 (kg/生産量 t)
えん麦	後作(8月～越冬前まで栽培)	4,500	15	0.0
	休閑(春～9月以降まで栽培)	5,200	20	0.0
とうもろこし	休閑(春～8月まで栽培)	6,500	15	0.0
	休閑(春～9月以降まで栽培)	8,500	20	0.0
シロカラシ	後作(8月～越冬前まで栽培)	4,500	15	1.0
	休閑(春～8月まで栽培)	5,000	15	0.5
ひまわり	後作(8月～越冬前まで栽培)	3,500	15	0.5
	休閑(春～8月まで栽培)	7,000	15	0.0
ソルガム	休閑(春～8月まで栽培)	7,000	15	0.0
	休閑(春～9月以降まで栽培)	9,000	20	0.0
ギニアグラス	2ヶ月以上栽培、ハウス	5,000	15	0.0
赤クローバ	間作	2,500	15	1.5
	休閑(春～8月まで栽培)	4,000	15	1.5
	休閑(春～9月以降まで栽培)	4,500	20	1.5
ヘアリーベッチ	後作(8月～越冬前まで栽培)	2,500	15	1.5
マリーゴールド	休閑(春～9月以降まで栽培)	6,000	15	0.0
	3ヶ月以上栽培	4,000	15	1.0
樹園地下草、牧草	刈り込み利用	6,000	15	0.0

- 注1) ギニアグラスはハウスでの栽培とし、ギニアグラス以外は露地における栽培とする。
 注2) () には標準的な栽培期間を示している。
 注3) 「後作」とは、当該作物の前作の収穫後に作付けするものをいう。
 注4) 生産量は生重ベースとする。
 注5) 申請に当たり、生産量は地域の実態により推定するものとする。ただし、推定した生産量の値が「生産量上限値」を超えないものとする。
 注6) 生産量を乾物重に換算する場合は、「生産量(kg/10a) × 「乾物率(%)」 = 「乾物重(kg/10a)」により算出するものとする。

4 ほ場副産物

(1) 副産物が生産されたほ場にすき込む(施用する)場合

種 類	単位(生産量)	生産量上限値 (kg/10a)	乾物率(%)	窒素換算量 (kg/単位)
秋まき小麦稈	100kg	1,100	90	-0.6
春まき小麦稈	100kg	700	90	-0.4
てんさい茎葉	1000kg	8,000	15	1.0
スイートコーン稈	100kg	1,000	85	0.0
豆がら	100kg	350	90	0.0
稲わら	100kg	700	85	-0.3
稲わら(雨ざらし、添加物あり)	100kg	—	30	0.0
もみがら	100kg	—	90	0.0

注1) 生産量は生重ベースとする。

注2) 窒素換算量にマイナスの記号がある場合は、窒素の取り込みがあるため、当該作物の総窒素施用量上限値に増肥ができることを示す。

注3) 申請に当たり、生産量は地域の実態により推定するものとする。ただし、推定した生産量の値が「生産量上限値」を超えないものとする。

注4) 生産量を乾物重に換算する場合は、「生産量(kg/10a)」×「乾物率(%)」＝「乾物重(kg/10a)」により算出するものとする。

注5) 水稻(水田)に施用する場合は、稲わらの窒素換算量を0kg/100kgとする。

(2) 副産物が生産されたほ場から搬出して、他のほ場に施用する場合

種 類	単位(生産量)	窒素換算量 (kg/単位)	乾物率(%)
秋まき小麦稈	100kg	-0.6	90
春まき小麦稈	100kg	-0.4	90
てんさい茎葉	1000kg	1.0	15
スイートコーン稈	100kg	0.0	85
豆がら	100kg	0.0	90
稲わら	100kg	-0.3	85
稲わら(雨ざらし、添加物あり)	100kg	0.0	30
もみがら	100kg	0.0	90

注1) 生産量は生重ベースとする。

注2) 窒素換算量にマイナスの記号がある場合は、窒素の取り込みがあるため、当該作物の総窒素施用量上限値に増肥ができることを示す。

注3) 生産量を乾物重に換算する場合は、「生産量(kg/10a)」×「乾物率(%)」＝「乾物重(kg/10a)」により算出するものとする。

注4) 水稻(水田)に施用する場合は、稲わらの窒素換算量を0kg/100kgとする。

5 有機質肥料

種 類	窒素換算量(kg/100kg)	乾物重(kg/100kg)
なたね油かす	3.0	85
大豆油かす	4.0	85
わた実油かす	3.0	85
ひまし油かす	3.0	85
アマニ油かす	3.0	85
脱脂米ぬか	1.0	85
魚かす	5.0	95
カニから	1.5	90
乾血粉	9.0	90
草木灰	0.0	90
乾燥菌体	4.0	85

注) 表に含まれないものは、「肥料取締法に基づき普通肥料の公定規格を定める等の件」(昭和61年2月2日農林水産省告示第284号)の「四 有機質肥料(動植物質のものに限る)」を参考に、窒素含有率が上記の有機質肥料のいずれかと同じ場合は、当該有機質肥料の窒素換算量を適用するか、又は、表示されている含有率を有効成分として積算することとする。

[有機配合肥料における窒素換算量の算出方法]

- 1 有機物由来の窒素の配合割合が合計50%以上の場合は、下記の①～③の方法から適宜算出方法を選択するものとする。
- 2 有機物由来の窒素の配合割合が合計50%未満の場合は、下記の①～②の方法に準じて算出するものとする。

① 表示成分をそのまま、有機物由来の窒素量とする

[例] 全窒素7%、そのうち有機物由来の窒素4%の資材を50kg用いる。

有機物由来の窒素量 : $50\text{kg} \times 0.04 = 2.0\text{kg}$

化学肥料由来の窒素量 : $50\text{kg} \times 0.03 = 1.5\text{kg}$

② 成分の中で最も窒素換算量の多いものの値を用いて有機物由来の窒素量を算出する。

[例] 有機入りの資材を50kg用いる。各有機資材の配合肥料に占める割合(重量%)は、脱脂米ぬか、なたね油かす、魚かすがそれぞれ資材中30%、20%、20%である。

有機物由来の窒素量 : $50\text{kg} \times (30 + 20 + 20) / 100 \times 0.05$ (魚かすの換算率) = 1.75kg

③ 含まれる個々の成分を窒素換算する。

[例] 有機入りの資材を50kg用いる。各有機資材の配合肥料に占める割合(重量%)は、脱脂米ぬか、なたね油かす、魚かすがそれぞれ資材中20%、10%、10%である。

有機物由来の窒素量

脱脂米ぬか $50\text{kg} \times 0.2 \times 0.01$ (脱脂米ぬかの換算率) = 0.10kg

なたね油かす $50\text{kg} \times 0.1 \times 0.03$ (なたね油かすの換算率) = 0.15kg

魚かす $50\text{kg} \times 0.1 \times 0.05$ (魚かすの換算率) = 0.25kg

計 0.5kg

[参考2]

化学肥料施用量上限値(使用基準)等と慣行レベルとの比較表

(kg/10a)

類別	作物名	作型	化学肥料 施用量 上限値 (使用基準)	[参考] 総窒素施用量 上限値 (使用基準)	[参考] 化学肥料の 施用量 (慣行レベル)
水稻	水稻	高収地帯	8	9.5	10
		中間地帯	7	8.5	10
		低収地帯	6	7.5	10
麦類	秋まき小麦	秋まき	11	16	15
	春まき小麦	普通まき	9	10	10
		初冬まき	9	10	15
豆類	大豆	露地	2	3	4
	小豆	露地	3	4	5
	菜豆	露地	3	4	7
その他畑作物	ばれいしょ	露地	9	12	11
	そば	露地	2	3	3
	てんさい	露地	15	20	18
	ひまわり	露地	5	6	8
果菜類	トマト	ハウス	24	35	26
	ミニトマト	ハウス	25	36	28
	きゅうり	ハウス	39	50	42
	なす	露地	21	37	23
	かぼちゃ	露地	8	14	13
	えだまめ	露地	2	3	4
	スイートコーン	露地	12	17	20
		ハウス	8	17	22
	さやいんげん	露地	7	10	8
		ハウス	2	6	8
	さやえんどう	露地	4	8	13
	ししとう	ハウス	24	35	38
	とうがらし(なんばん)	ハウス	24	35	36
葉茎菜類	たまねぎ	露地	13	18	20
	ねぎ	露地	19	24	28
		ハウス	14	25	25
	小ねぎ	露地	17	18	20
		ハウス	15	18	20
	はくさい	露地	23	26	24
		トンネル早春まき	33	34	35
		ハウス	11	18	22
		ハウス早春まき	21	28	25
	キャベツ	露地	21	24	26
		ハウス	11	16	20
	ほうれんそう	ハウス	7.5	12	14
		ハウス越冬	13.5	18	16
	チコリ	露地	3	5	7
	サンチュ	ハウス	14	20	27
	モロヘイヤ	ハウス	9	15	14
	にんにく	露地	16	22	26
	みつば	軟化みつば(ハウス)	9	18	17
	しゅんぎく	抜き取り	13.5	20	14
		摘み取り	19	25	26
	みずな	ハウス	7	12	17
	こまつな	露地	11.5	15	12
		ハウス	10.5	15	16
	チンゲンサイ	露地	14	18	16
		ハウス	13	18	15

類別	作物名	作型	化学肥料 施用量 上限値 (使用基準)	[参考] 総窒素施用量 上限値 (使用基準)	[参考] 化学肥料の 施用量 (慣行レベル)
葉茎菜類	ターサイ	露地	15	16	18
		ハウス	14	16	19
	あさつき	ハウス	27	30	35
	にら	ハウス	24	32	29
	食用ゆり	露地	23	30	25
根菜類	だいこん	露地	7	9	8
		春まきトンネル	9	12	10
		ハウス	5	9	11
		ハウス早春まき	8	14	12
	にんじん	露地	10	15	16
	ごぼう	露地	16	20	21
	かぶ	露地	11	13	15
		ハウス	9	16	15
	はつかだいこん	ハウス	10.5	12	14
	ながいも	露地	16	20	23
果実的野菜	すいか	露地	7	11	8
		ハウス	6	14	9
	メロン	露地	8	13	14
		ハウス	8	16	13
	まくわうり	露地	8	10	11
		ハウス	8	14	13
	いちご	露地	11	16	15
		ハウス	6	15	21
		ハウス夏秋どり	9	18	21
洋菜類	ピーマン	露地	28	32	31
		ハウス	34	45	37
	レタス	露地	15	18	16
		ハウス	13	18	14
	リーフレタス	露地	15	16	16
		ハウス	13	16	15
	サラダナ	露地	15	16	18
		ハウス	13	16	19
	セルリー	露地	48	50	54
		ハウス	44	50	54
	ブロッコリー	露地	17	22	27
	アスパラガス	露地	18	25	27
		ハウス	14	25	27
		立茎露地	43	48	50
		立茎ハウス	39	50	50
果樹	カリフラワー	露地	17	22	22
	りんご	露地	5	7	7
	なし	日本種	14	16	15
		西洋種	10	12	12
	ぶどう	生食用	9	11	15
		醸造用	6	8	10
	おうとう	露地	10	12	14
	ブルーン	露地	10	12	14
	ハスカップ	露地	6	8	8
	ブルーベリー	露地	6	8	10

注1) 長期どり果菜類については、別表2に基づき、通常の収穫期間を勘案し、次の追肥回数で総窒素施用量及び化学肥料施用量の上限値(以下「上限値」という。)を計算している。

【トマト・きゅうり…追肥回数5回、ミニトマト…追肥回数8回、なす…追肥回数4回、ピーマン(露地)…追肥回数4回、ピーマン(ハウス)…追肥回数6回、ししとう…追肥回数4回、とうがらし(なんばん)…追肥回数4回】

なお、長期どり果菜類の上限値は、収穫期間の長さにより変動する。

注2) 長期どり果菜類を除く作物の上限値については、別表2に基づく施肥量の最大値を記載している。

注3) 化学肥料施用量上限値は、「稲わらたい肥」、「牛ふん麦稈たい肥」、「牛ふん敷料たい肥」を「たい肥等有機物施用量下限値」に併せ施用した場合の基準であり、施用するたい肥等有機物の種類、量によって変動する。

注4) 慣行レベルは、北海道内の各地域で慣行的に使われている化学肥料の使用量をいう。

[参考3]

たい肥等有機物施用量下限値の積算について(水稻の場合)

1 たい肥等有機物施用量の施用種別

施用方法	たい肥類	緑肥	ほ場副産物	有機質肥料
一年毎に施用	①	③	④	⑤
輪作期間内で施用	⑥	⑧	⑨	⑩

注) (別紙1)の3「たい肥等有機物施用量」の「施用種別」の欄に該当する数値(①～⑩)を記入する。

2 たい肥等施用量下限値積算表

施用種別	区分	たい肥等の種類	施用量・生産量	窒素割合(B)	乾物重(率)(B')	窒素換算(A×B)	乾物量(A×B')
①	たい肥	牛ふん麦稈たい肥	1 t/10a	1.0 kg/t	300 kg/t	1.0 kg/10a	300 kg/10a
①	たい肥	牛ふん敷料たい肥	1 t/10a	1.0 kg/t	300 kg/t	1.0 kg/10a	300 kg/10a
①	窒素	豚ふんたい肥	0.5 t/10a	2.0 kg/t	300 kg/t	1.0 kg/10a	150 kg/10a
①	たい肥	馬ふんたい肥	1 t/10a	0.5 kg/t	300 kg/t	0.5 kg/10a	300 kg/10a
①	乾物	もみがらたい肥	0.8 t/10a	0.0 kg/t	400 kg/t	0.0 kg/10a	300 kg/10a
①	たい肥	稲わらたい肥	1 t/10a	1.0 kg/t	300 kg/t	1.0 kg/10a	300 kg/10a
①	窒素	下水汚泥コンポスト・石灰系	0.1 t/10a	3.6 kg/t	850 kg/t	0.4 kg/10a	85 kg/10a
①	たい肥	生ゴミたい肥	1 t/10a	1.0 kg/t	400 kg/t	1.0 kg/10a	400 kg/10a
②	窒素	乾燥鶏ふん	80 kg/10a	1.3 kg/100kg	90 kg/100kg	1.0 kg/10a	72 kg/10a
②	窒素	発酵鶏ふん	80 kg/10a	1.3 kg/100kg	80 kg/100kg	1.0 kg/10a	64 kg/10a
②	窒素	生鶏ふん	100 kg/10a	1.0 kg/100kg	25 kg/100kg	1.0 kg/10a	25 kg/10a
③	乾物	えん麦(後作)	2,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	えん麦(休閑)	1,500 kg/10a	0.0 kg/t	20 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	とうもろこし(休閑8月まで)	2,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	とうもろこし(休閑9月まで)	1,500 kg/10a	0.0 kg/t	20 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	窒素	シロカラシ(後作)	1,000 kg/10a	1.0 kg/t	15 %	1.0 kg/10a	150 kg/10a
③	窒素	シロカラシ(休閑)	2,000 kg/10a	0.5 kg/t	15 %	1.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	ひまわり(後作)	2,000 kg/10a	0.5 kg/t	15 %	1.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	ひまわり(休閑)	2,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	ソルガム(休閑8月まで)	2,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	ソルガム(休閑9月まで)	1,500 kg/10a	0.0 kg/t	20 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	ギニアグラス(ハウス)	2,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	窒素	赤クローバー(間作)	670 kg/10a	1.5 kg/t	15 %	1.0 kg/10a	101 kg/10a
③	窒素	赤クローバー(休閑8月まで)	670 kg/10a	1.5 kg/t	15 %	1.0 kg/10a	101 kg/10a
③	窒素	赤クローバー(休閑9月以降まで)	670 kg/10a	1.5 kg/t	20 %	1.0 kg/10a	134 kg/10a
③	窒素	ヘアリーベッチ(後作)	670 kg/10a	1.5 kg/t	15 %	1.0 kg/10a	101 kg/10a
③	乾物	マリーゴールド(休閑)	2,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	窒素	マリーゴールド(栽培3ヶ月以上)	1,000 kg/10a	1.0 kg/t	15 %	1.0 kg/10a	150 kg/10a
④	乾物	秋まき小麦稈(すき込み)	335 kg/10a	-0.6 kg/100kg	90 %	-2.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	春まき小麦稈(すき込み)	335 kg/10a	-0.4 kg/100kg	90 %	-1.3 kg/10a	302 kg/10a
④	窒素	てん菜茎葉(すき込み)	1,000 kg/10a	1.0 kg/100kg	15 %	1.0 kg/10a	150 kg/10a
④	乾物	スイートコーン稈(すき込み)	355 kg/10a	0.0 kg/100kg	85 %	0.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	豆がら(すき込み)	335 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	稲わら(すき込み)	355 kg/10a	0.0 kg/100kg	85 %	0.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	稲わら(すき込み)雨ざらし、添加物あり	1,000 kg/10a	0.0 kg/100kg	30 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
④	乾物	もみがら(すき込み)	335 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	秋まき小麦稈(搬出)	335 kg/10a	-0.6 kg/100kg	90 %	-2.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	春まき小麦稈(搬出)	335 kg/10a	-0.4 kg/100kg	90 %	-1.3 kg/10a	302 kg/10a
④	窒素	てん菜茎葉(搬出)	1,000 kg/10a	1.0 kg/100kg	15 %	1.0 kg/10a	150 kg/10a
④	乾物	スイートコーン稈(搬出)	355 kg/10a	0.0 kg/100kg	85 %	0.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	豆がら(搬出)	335 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	稲わら(搬出)	355 kg/10a	0.0 kg/100kg	85 %	0.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	稲わら(搬出)雨ざらし、添加物あり	1,000 kg/10a	0.0 kg/100kg	30 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
④	乾物	もみがら(搬出)	335 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	302 kg/10a
⑤	窒素	なたね油かす	34 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	1.0 kg/10a	28 kg/10a
⑤	窒素	大豆油かす	25 kg/10a	4.0 kg/100kg	85 kg/100kg	1.0 kg/10a	21 kg/10a
⑤	窒素	わた実油かす	34 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	1.0 kg/10a	28 kg/10a
⑤	窒素	ひまし油かす	34 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	1.0 kg/10a	28 kg/10a
⑤	窒素	アマニ油かす	34 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	1.0 kg/10a	28 kg/10a
⑤	窒素	脱脂米ぬか	100 kg/10a	1.0 kg/100kg	85 kg/100kg	1.0 kg/10a	85 kg/10a
⑤	窒素	魚かす	20 kg/10a	5.0 kg/100kg	95 kg/100kg	1.0 kg/10a	19 kg/10a
⑤	窒素	カニから	67 kg/10a	1.5 kg/100kg	90 kg/100kg	1.0 kg/10a	60 kg/10a
⑤	窒素	乾血粉	12 kg/10a	9.0 kg/100kg	90 kg/100kg	1.0 kg/10a	10 kg/10a
⑤	乾物	草木灰	335 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 kg/100kg	0.0 kg/10a	302 kg/10a
⑤	窒素	乾燥菌体	25 kg/10a	4.0 kg/100kg	85 kg/100kg	1.0 kg/10a	21 kg/10a

※

注) 1 「区分」の欄は、窒素換算する場合は「窒素」、乾物換算する場合は「乾物」と記入する

注) 2 本表において「窒素」に区分している「たい肥等有機物」についても「乾物」に区分し、乾物換算して差し支えない。(登録基準[参考1]たい肥等有機物の窒素換算量及び乾物重の目安を参考のこと。)

たい肥等有機物施用量下限値の積算について(畑作の場合)

1 たい肥等有機物施用量の施用種別

施用方法	たい肥類	液状有機物 及びふん尿	緑肥	ほ場副産物	有機質肥料
一年毎に施用	①	②	③	④	⑤
輪作期間内で施用	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

注) (別紙1) の3「たい肥等有機物施用量」の「施用種別」の欄に該当する数値(①～⑩)を記入する。

2 たい肥等施用量下限値積算表

施用 種別	区分	たい肥等の種類	施用量・生産量 (A)	窒素割合 (B)	乾物重(率) (B')	窒素換算 (A×B)	乾物量 (A×B')
①	たい肥	牛ふん麦稈たい肥	1 t/10a	1.0 kg/t	300 kg/t	1.0 kg/10a	300 kg/10a
①	たい肥	牛ふん敷料たい肥	1 t/10a	1.0 kg/t	300 kg/t	1.0 kg/10a	300 kg/10a
②	窒素	豚ふんたい肥	0.5 t/10a	2.0 kg/t	400 kg/t	1.0 kg/10a	200 kg/10a
①	たい肥	馬ふんたい肥	1 t/10a	0.5 kg/t	300 kg/t	0.5 kg/10a	300 kg/10a
①	乾物	バーグたい肥	0.8 t/10a	0.0 kg/t	400 kg/t	0.0 kg/10a	300 kg/10a
①	乾物	もみがらたい肥	0.8 t/10a	0.0 kg/t	400 kg/t	0.0 kg/10a	300 kg/10a
①	たい肥	稲わらたい肥	1 t/10a	1.0 kg/t	300 kg/t	1.0 kg/10a	300 kg/10a
①	窒素	下水汚泥コンポスト・高分子系	0.3 t/10a	4.0 kg/t	800 kg/t	1.0 kg/10a	200 kg/10a
①	窒素	下水汚泥コンポスト・石灰系	0.3 t/10a	3.6 kg/t	850 kg/t	1.1 kg/10a	255 kg/10a
①	たい肥	生ゴミたい肥	1 t/10a	1.0 kg/t	400 kg/t	1.0 kg/10a	400 kg/10a
②	窒素	牛ふんスラリー	0.8 t/10a	1.3 kg/t	80 kg/t	1.0 kg/10a	64 kg/10a
②	窒素	豚ふんスラリー	0.8 t/10a	1.3 kg/t	30 kg/t	1.0 kg/10a	24 kg/10a
②	窒素	牛尿	0.4 t/10a	2.5 kg/t	30 kg/t	1.0 kg/10a	12 kg/10a
②	窒素	豚尿	0.5 t/10a	2.0 kg/t	30 kg/t	1.0 kg/10a	15 kg/10a
②	窒素	でんぷん廃液	0.9 t/10a	1.2 kg/t	50 kg/t	1.0 kg/10a	43 kg/10a
②	窒素	乾燥鶏ふん	80 kg/10a	1.3 kg/100kg	90 kg/100kg	1.0 kg/10a	72 kg/10a
②	窒素	発酵鶏ふん	80 kg/10a	1.3 kg/100kg	80 kg/100kg	1.0 kg/10a	64 kg/10a
②	窒素	生鶏ふん	100 kg/10a	1.0 kg/100kg	25 kg/100kg	1.0 kg/10a	25 kg/10a
③	乾物	えん麦(後作)	2,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	えん麦(休閑)	1,500 kg/10a	0.0 kg/t	20 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	とうもろこし(休閑8月まで)	2,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	とうもろこし(休閑9月まで)	1,500 kg/10a	0.0 kg/t	20 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	窒素	シロカラシ(後作)	1,000 kg/10a	1.0 kg/t	15 %	1.0 kg/10a	150 kg/10a
③	窒素	シロカラシ(休閑)	2,000 kg/10a	0.5 kg/t	15 %	1.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	ひまわり(後作)	2,000 kg/10a	0.5 kg/t	15 %	1.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	ひまわり(休閑)	2,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	ソルガム(休閑8月まで)	2,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	ソルガム(休閑9月まで)	1,500 kg/10a	0.0 kg/t	20 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	ギニアグラス(休閑)	2,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	窒素	赤クローバー(間作)	670 kg/10a	1.5 kg/t	15 %	1.0 kg/10a	101 kg/10a
③	窒素	赤クローバー(休閑8月まで)	670 kg/10a	1.5 kg/t	15 %	1.0 kg/10a	101 kg/10a
③	窒素	赤クローバー(休閑9月以降まで)	670 kg/10a	1.5 kg/t	20 %	1.0 kg/10a	134 kg/10a
③	窒素	ヘアリーベッチ(後作)	670 kg/10a	1.5 kg/t	15 %	1.0 kg/10a	101 kg/10a
③	乾物	マリーゴールド(休閑)	2,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
③	窒素	マリーゴールド(栽培3ヶ月以上)	1,000 kg/10a	1.0 kg/t	15 %	1.0 kg/10a	150 kg/10a
④	乾物	秋まき小麦稈(すき込み)	335 kg/10a	-0.6 kg/100kg	90 %	-2.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	春まき小麦稈(すき込み)	335 kg/10a	-0.4 kg/100kg	90 %	-1.3 kg/10a	302 kg/10a
④	窒素	てん菜茎葉(すき込み)	1,000 kg/10a	1.0 kg/100kg	15 %	1.0 kg/10a	150 kg/10a
④	乾物	スイートコーン稈(すき込み)	355 kg/10a	0.0 kg/100kg	85 %	0.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	豆がら(すき込み)	335 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	稲わら(すき込み)	355 kg/10a	-0.3 kg/100kg	85 %	-1.1 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	稲わら(すき込み) 雨ざらし、添加物あり	1,000 kg/10a	0.0 kg/100kg	30 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
④	乾物	もみがら(すき込み)	335 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	秋まき小麦稈(搬出)	335 kg/10a	-0.6 kg/100kg	90 %	-2.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	春まき小麦稈(搬出)	335 kg/10a	-0.4 kg/100kg	90 %	-1.3 kg/10a	302 kg/10a
④	窒素	てん菜茎葉(搬出)	1,000 kg/10a	1.0 kg/100kg	15 %	1.0 kg/10a	150 kg/10a
④	乾物	スイートコーン稈(搬出)	355 kg/10a	0.0 kg/100kg	85 %	0.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	豆がら(搬出)	335 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	稲わら(搬出)	355 kg/10a	-0.3 kg/100kg	85 %	-1.1 kg/10a	302 kg/10a
④	乾物	稲わら(搬出) 雨ざらし、添加物あり	1,000 kg/10a	0.0 kg/100kg	30 %	0.0 kg/10a	300 kg/10a
④	乾物	もみがら(搬出)	335 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	302 kg/10a
⑤	窒素	なたね油かす	34 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	1.0 kg/10a	28 kg/10a
⑤	窒素	大豆油かす	25 kg/10a	4.0 kg/100kg	85 kg/100kg	1.0 kg/10a	21 kg/10a
⑤	窒素	わた実油かす	34 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	1.0 kg/10a	28 kg/10a
⑤	窒素	わまし油かす	34 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	1.0 kg/10a	28 kg/10a
⑤	窒素	アマニ油かす	34 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	1.0 kg/10a	28 kg/10a
⑤	窒素	脱脂米ぬか	100 kg/10a	1.0 kg/100kg	85 kg/100kg	1.0 kg/10a	85 kg/10a
⑤	窒素	魚かす	20 kg/10a	5.0 kg/100kg	95 kg/100kg	1.0 kg/10a	19 kg/10a
⑤	窒素	カニから	67 kg/10a	1.5 kg/100kg	90 kg/100kg	1.0 kg/10a	60 kg/10a
⑤	窒素	乾血粉	12 kg/10a	9.0 kg/100kg	90 kg/100kg	1.0 kg/10a	10 kg/10a
⑤	乾物	草木灰	335 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 kg/100kg	0.0 kg/10a	302 kg/10a
⑤	窒素	乾燥菌体	25 kg/10a	4.0 kg/100kg	85 kg/100kg	1.0 kg/10a	21 kg/10a

注) 1 「区分」の欄は、窒素換算する場合は「窒素」、乾物換算する場合は「乾物」と記入する。

注) 2 本表において「窒素」に区分している「たい肥等有機物」についても「乾物」に区分し、乾物換算して差し支えない。(登録基準【参考1】たい肥等有機物の窒素換算量及び乾物重の目安を参考のこと。)

たい肥等有機物施用量下限値の積算について(野菜(露地)の場合)

1 たい肥等有機物施用量の施用種別

施用方法	たい肥類	液状有機物 及びふん尿	緑肥	ほ場副産物	有機質肥料
一年毎に施用	①	②	③	④	⑤
輪作期間内で施用	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

注) (別紙1) の3「たい肥等有機物施用量」の「施用種別」の欄に該当する数値(①～⑩)を記入する。

2 たい肥等施用量下限値積算表

施用 種別	区分	たい肥等の種類	施用量・生産量 (A)	窒素割合 (B)	乾物重(率) (B')	窒素換算 (A×B)	乾物量 (A×B')
①	たい肥	牛ふん麦稈たい肥	2 t/10a	1.0 kg/ t	300 kg/ t	2.0 kg/10a	600 kg/10a
①	たい肥	牛ふん敷料たい肥	2 t/10a	1.0 kg/ t	300 kg/ t	2.0 kg/10a	600 kg/10a
①	窒素	豚ふんたい肥	1 t/10a	2.0 kg/ t	400 kg/ t	2.0 kg/10a	400 kg/10a
①	たい肥	馬ふんたい肥	2 t/10a	0.5 kg/ t	300 kg/ t	1.0 kg/10a	600 kg/10a
①	乾物	バークたい肥	1.5 t/10a	0.0 kg/ t	400 kg/ t	0.0 kg/10a	600 kg/10a
①	乾物	もみがらたい肥	1.7 t/10a	0.0 kg/ t	400 kg/ t	0.0 kg/10a	680 kg/10a
①	たい肥	稲わらたい肥	2 t/10a	1.0 kg/ t	300 kg/ t	2.0 kg/10a	600 kg/10a
①	窒素	下水汚泥コンポスト・高分子系	0.5 t/10a	4.0 kg/ t	800 kg/ t	2.0 kg/10a	400 kg/10a
①	窒素	下水汚泥コンポスト・石灰系	0.6 t/10a	3.6 kg/ t	850 kg/ t	2.2 kg/10a	510 kg/10a
①	たい肥	生ゴミたい肥	2 t/10a	1.0 kg/ t	400 kg/ t	2.0 kg/10a	800 kg/10a
②	窒素	乾燥鶏ふん	160 kg/10a	1.3 kg/100kg	90 kg/100kg	2.1 kg/10a	144 kg/10a
②	窒素	発酵鶏ふん	160 kg/10a	1.3 kg/100kg	80 kg/100kg	2.1 kg/10a	128 kg/10a
②	窒素	生鶏ふん	200 kg/10a	1.0 kg/100kg	25 kg/100kg	2.0 kg/10a	50 kg/10a
③	乾物	えん麦(後作)	4,000 kg/10a	0.0 kg/ t	15 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	乾物	えん麦(休閑)	3,000 kg/10a	0.0 kg/ t	20 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	乾物	とうもろこし(休閑8月まで)	4,000 kg/10a	0.0 kg/ t	15 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	乾物	とうもろこし(休閑9月まで)	3,000 kg/10a	0.0 kg/ t	20 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	窒素	シロカラシ(後作)	2,000 kg/10a	1.0 kg/ t	15 %	2.0 kg/10a	300 kg/10a
③	窒素	シロカラシ(休閑)	4,000 kg/10a	0.5 kg/ t	15 %	2.0 kg/10a	600 kg/10a
③	乾物	ひまわり(後作)	3,500 kg/10a	0.5 kg/ t	15 %	1.8 kg/10a	525 kg/10a
③	乾物	ひまわり(休閑)	4,000 kg/10a	0.0 kg/ t	15 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	乾物	ソルガム(休閑8月まで)	4,000 kg/10a	0.0 kg/ t	15 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	乾物	ソルガム(休閑9月まで)	3,000 kg/10a	0.0 kg/ t	20 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	乾物	ギニアグラス(休閑)	4,000 kg/10a	0.0 kg/ t	15 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	窒素	赤クローバー(間作)	1,340 kg/10a	1.5 kg/ t	15 %	2.0 kg/10a	201 kg/10a
③	窒素	赤クローバー(休閑8月まで)	1,340 kg/10a	1.5 kg/ t	15 %	2.0 kg/10a	201 kg/10a
③	窒素	赤クローバー(休閑9月以降まで)	1,340 kg/10a	1.5 kg/ t	20 %	2.0 kg/10a	268 kg/10a
③	窒素	ヘアリーベッチ(後作)	1,340 kg/10a	1.5 kg/ t	15 %	2.0 kg/10a	201 kg/10a
③	乾物	マリーゴールド(休閑)	4,000 kg/10a	0.0 kg/ t	15 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	窒素	マリーゴールド(栽培3ヶ月以上)	2,000 kg/10a	1.0 kg/ t	15 %	2.0 kg/10a	300 kg/10a
④	乾物	秋まき小麦稈(すき込み)	670 kg/10a	-0.6 kg/100kg	90 %	-4.0 kg/10a	603 kg/10a
④	乾物	春まき小麦稈(すき込み)	670 kg/10a	-0.4 kg/100kg	90 %	-2.7 kg/10a	603 kg/10a
④	窒素	てん菜茎葉(すき込み)	2,000 kg/10a	1.0 kg/100kg	15 %	2.0 kg/10a	300 kg/10a
④	乾物	スイートコーン稈(すき込み)	710 kg/10a	0.0 kg/100kg	85 %	0.0 kg/10a	604 kg/10a
④	乾物	豆がら(すき込み)	350 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	315 kg/10a
④	乾物	稲わら(すき込み)	700 kg/10a	-0.3 kg/100kg	85 %	-2.1 kg/10a	595 kg/10a
④	乾物	稲わら(すき込み)雨ざらし、添加物あり	2,000 kg/10a	0.0 kg/100kg	30 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
④	乾物	もみがら(すき込み)	670 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	603 kg/10a
④	乾物	秋まき小麦稈(搬出)	670 kg/10a	-0.6 kg/100kg	90 %	-4.0 kg/10a	603 kg/10a
④	乾物	春まき小麦稈(搬出)	670 kg/10a	-0.4 kg/100kg	90 %	-2.7 kg/10a	603 kg/10a
④	窒素	てん菜茎葉(搬出)	2,000 kg/10a	1.0 kg/100kg	15 %	2.0 kg/10a	300 kg/10a
④	乾物	スイートコーン稈(搬出)	710 kg/10a	0.0 kg/100kg	85 %	0.0 kg/10a	604 kg/10a
④	乾物	豆がら(搬出)	670 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	603 kg/10a
④	乾物	稲わら(搬出)	710 kg/10a	-0.3 kg/100kg	85 %	-2.1 kg/10a	604 kg/10a
④	乾物	稲わら(搬出)雨ざらし、添加物あり	2,000 kg/10a	0.0 kg/100kg	30 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
④	乾物	もみがら(搬出)	670 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	603 kg/10a
⑤	窒素	なたね油かす	67 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	2.0 kg/10a	57 kg/10a
⑤	窒素	大豆油かす	50 kg/10a	4.0 kg/100kg	85 kg/100kg	2.0 kg/10a	43 kg/10a
⑤	窒素	わた実油かす	67 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	2.0 kg/10a	57 kg/10a
⑤	窒素	ひまし油かす	67 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	2.0 kg/10a	57 kg/10a
⑤	窒素	アマニ油かす	67 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	2.0 kg/10a	57 kg/10a
⑤	窒素	脱脂米ぬか	200 kg/10a	1.0 kg/100kg	85 kg/100kg	2.0 kg/10a	170 kg/10a
⑤	窒素	魚かす	40 kg/10a	5.0 kg/100kg	95 kg/100kg	2.0 kg/10a	38 kg/10a
⑤	窒素	カニから	134 kg/10a	1.5 kg/100kg	90 kg/100kg	2.0 kg/10a	121 kg/10a
⑤	窒素	乾血粉	23 kg/10a	9.0 kg/100kg	90 kg/100kg	2.1 kg/10a	21 kg/10a
⑤	乾物	草木灰	670 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 kg/100kg	0.0 kg/10a	603 kg/10a
⑤	窒素	乾燥菌体	50 kg/10a	4.0 kg/100kg	85 kg/100kg	2.0 kg/10a	43 kg/10a

注) 1 「区分」の欄は、窒素換算する場合は「窒素」、乾物換算する場合は「乾物」と記入する。

注) 2 本表において「窒素」に区分している「たい肥等有機物」についても「乾物」に区分し、乾物換算して差し支えない。(登録基準[参考1]たい肥等有機物の窒素換算量及び乾物重の目安を参考のこと。)

注) 3 欄外※は、他と組み合わせて施用しなければ、登録基準に適合しないことを表す

たい肥等有機物施用量下限値の積算について(野菜(ハウス)の場合)

1 たい肥等有機物施用量の施用種別

施用方法	たい肥類	液状有機物 及びふん尿	緑肥	ほ場副産物	有機質肥料
一年毎に施用	①	②	③	④	⑤
輪作期間内で施用	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

注) (別紙1)の3「たい肥等有機物施用量」の「施用種別」の欄に該当する数値(①～⑩)を記入する。

2 たい肥等施用量下限値積算表

施用 種別	区分	たい肥等の種類	施用量・生産量 (A)	窒素割合 (B)	乾物重(率) (B')	窒素換算 (A×B)	乾物量 (A×B')	
①	たい肥	牛ふん麦稈たい肥	4 t/10a	1.5 kg/t	300 kg/t	6.0 kg/10a	1,200 kg/10a	
①	たい肥	牛ふん敷料たい肥	4 t/10a	1.5 kg/t	300 kg/t	6.0 kg/10a	1,200 kg/10a	
①	窒素	豚ふんたい肥	3 t/10a	2.0 kg/t	400 kg/t	6.0 kg/10a	1,200 kg/10a	
①	たい肥	馬ふんたい肥	4 t/10a	0.5 kg/t	300 kg/t	2.0 kg/10a	1,200 kg/10a	
①	乾物	バークたい肥	3.0 t/10a	0.0 kg/t	400 kg/t	0.0 kg/10a	1,200 kg/10a	
①	乾物	もみがらたい肥	3.0 t/10a	0.0 kg/t	400 kg/t	0.0 kg/10a	1,200 kg/10a	
①	たい肥	稲わらたい肥	4 t/10a	1.0 kg/t	300 kg/t	4.0 kg/10a	1,200 kg/10a	
①	窒素	下水汚泥コンポスト・高分子系	0.5 t/10a	4.0 kg/t	800 kg/t	2.0 kg/10a	400 kg/10a	※
①	窒素	下水汚泥コンポスト・石灰系	1.0 t/10a	3.6 kg/t	850 kg/t	3.6 kg/10a	850 kg/10a	※
①	たい肥	生ゴミたい肥	4 t/10a	1.0 kg/t	400 kg/t	4.0 kg/10a	1,600 kg/10a	
②	窒素	乾燥鶏ふん	470 kg/10a	1.3 kg/100kg	90 kg/100kg	6.1 kg/10a	423 kg/10a	
②	窒素	発酵鶏ふん	470 kg/10a	1.3 kg/100kg	80 kg/100kg	6.1 kg/10a	376 kg/10a	
③	乾物	えん麦(後作)	4,500 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	675 kg/10a	※
③	乾物	えん麦(休閑)	5,200 kg/10a	0.0 kg/t	20 %	0.0 kg/10a	1,040 kg/10a	※
③	乾物	とうもろこし(休閑8月まで)	6,500 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	975 kg/10a	※
③	乾物	とうもろこし(休閑9月まで)	6,000 kg/10a	0.0 kg/t	20 %	0.0 kg/10a	1,200 kg/10a	
③	窒素	シロカラシ(後作)	4,500 kg/10a	1.0 kg/t	15 %	4.5 kg/10a	675 kg/10a	※
③	窒素	シロカラシ(休閑)	5,000 kg/10a	0.5 kg/t	15 %	2.5 kg/10a	750 kg/10a	※
③	乾物	ひまわり(後作)	3,500 kg/10a	0.5 kg/t	15 %	1.8 kg/10a	525 kg/10a	※
③	乾物	ひまわり(休閑)	7,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	1,050 kg/10a	※
③	乾物	ソルガム(休閑8月まで)	7,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	1,050 kg/10a	※
③	乾物	ソルガム(休閑9月まで)	6,000 kg/10a	0.0 kg/t	20 %	0.0 kg/10a	1,200 kg/10a	
③	乾物	ギニアグラス(ハウス)	5,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	750 kg/10a	※
③	窒素	赤クローバー(間作)	2,500 kg/10a	1.5 kg/t	15 %	3.8 kg/10a	375 kg/10a	※
③	窒素	赤クローバー(休閑8月まで)	4,000 kg/10a	1.5 kg/t	15 %	6.0 kg/10a	600 kg/10a	
③	窒素	赤クローバー(休閑9月以降まで)	4,000 kg/10a	1.5 kg/t	20 %	6.0 kg/10a	800 kg/10a	
③	窒素	ヘアリーベッチ(後作)	2,500 kg/10a	1.5 kg/t	15 %	3.8 kg/10a	375 kg/10a	※
③	乾物	マリーゴールド(休閑)	6,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	900 kg/10a	※
③	窒素	マリーゴールド(栽培3ヶ月以上)	4,000 kg/10a	1.0 kg/t	15 %	4.0 kg/10a	600 kg/10a	※
④	乾物	秋まき小麦稈(すき込み)	1,100 kg/10a	-0.6 kg/100kg	90 %	-6.6 kg/10a	990 kg/10a	※
④	乾物	春まき小麦稈(すき込み)	700 kg/10a	-0.4 kg/100kg	90 %	-2.8 kg/10a	630 kg/10a	※
④	窒素	てん菜茎葉(すき込み)	6,000 kg/10a	1.0 kg/1000kg	15 %	6.0 kg/10a	900 kg/10a	
④	乾物	スイートコーン稈(すき込み)	1,000 kg/10a	0.0 kg/100kg	85 %	0.0 kg/10a	850 kg/10a	※
④	乾物	豆がら(すき込み)	350 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	315 kg/10a	※
④	乾物	稲わら(すき込み)	700 kg/10a	-0.3 kg/100kg	85 %	-2.1 kg/10a	595 kg/10a	※
④	乾物	稲わら(すき込み)雨ざらし、添加物あり	4,000 kg/10a	0.0 kg/100kg	30 %	0.0 kg/10a	1,200 kg/10a	
④	乾物	もみがら(すき込み)	1,335 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	1,202 kg/10a	
④	乾物	秋まき小麦稈(搬出)	1,335 kg/10a	-0.6 kg/100kg	90 %	-8.0 kg/10a	1,202 kg/10a	
④	乾物	春まき小麦稈(搬出)	1,335 kg/10a	-0.4 kg/100kg	90 %	-5.3 kg/10a	1,202 kg/10a	
④	窒素	てん菜茎葉(搬出)	6,000 kg/10a	1.0 kg/1000kg	15 %	6.0 kg/10a	900 kg/10a	
④	乾物	スイートコーン稈(搬出)	1,413 kg/10a	0.0 kg/100kg	85 %	0.0 kg/10a	1,201 kg/10a	
④	乾物	豆がら(搬出)	1,335 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	1,202 kg/10a	
④	乾物	稲わら(搬出)	1,413 kg/10a	-0.3 kg/100kg	85 %	-4.2 kg/10a	1,201 kg/10a	
④	乾物	稲わら(搬出)雨ざらし、添加物あり	4,000 kg/10a	0.0 kg/100kg	30 %	0.0 kg/10a	1,200 kg/10a	
④	乾物	もみがら(搬出)	1,335 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	1,202 kg/10a	
⑤	窒素	なたね油かす	200 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	6.0 kg/10a	170 kg/10a	
⑤	窒素	大豆油かす	150 kg/10a	4.0 kg/100kg	85 kg/100kg	6.0 kg/10a	128 kg/10a	
⑤	窒素	わた実油かす	200 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	6.0 kg/10a	170 kg/10a	
⑤	窒素	ひまし油かす	200 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	6.0 kg/10a	170 kg/10a	
⑤	窒素	アマニ油かす	200 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	6.0 kg/10a	170 kg/10a	
⑤	窒素	脱脂米ぬか	600 kg/10a	1.0 kg/100kg	85 kg/100kg	6.0 kg/10a	510 kg/10a	
⑤	窒素	魚かす	120 kg/10a	5.0 kg/100kg	95 kg/100kg	6.0 kg/10a	114 kg/10a	
⑤	窒素	カニから	400 kg/10a	1.5 kg/100kg	90 kg/100kg	6.0 kg/10a	360 kg/10a	
⑤	窒素	乾血粉	67 kg/10a	9.0 kg/100kg	90 kg/100kg	6.0 kg/10a	60 kg/10a	
⑤	乾物	草木灰	1,335 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 kg/100kg	0.0 kg/10a	1,202 kg/10a	
⑤	窒素	乾燥菌体	150 kg/10a	4.0 kg/100kg	85 kg/100kg	6.0 kg/10a	128 kg/10a	

注) 1 「区分」の欄は、窒素換算する場合は「窒素」、乾物換算する場合は「乾物」と記入する。

注) 2 本表において「窒素」に区分している「たい肥等有機物」についても「乾物」に区分し、乾物換算して差し支えない。(登録基準「参考1」たい肥等有機物の窒素換算量及び乾物重の目安を参考のこと。)

注) 3 欄外※は、他と組み合わせる施用しなければ、登録基準に適合しないことを表す

たい肥等有機物施用量下限値の積算について(果樹の場合)

1 たい肥等有機物施用量の施用種別

施用方法	たい肥類	液状有機物 及びふん尿	緑肥	ほ場副産物	有機質肥料
一年毎に施用	①	②	③	④	⑤
輪作期間内で施用	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

注) (別紙1) の3 [たい肥等有機物施用量] の「施用種別」の欄に該当する数値(①～⑩)を記入する。

2 たい肥等施用量下限値積算表

施用 種別	区分	たい肥等の種類	施用量・生産量 (A)	窒素割合 (B)	乾物重(率) (B')	窒素換算 (A×B)	乾物量 (A×B')
①	たい肥	牛ふん麦稈たい肥	2 t/10a	1.0 kg/t	300 kg/t	2.0 kg/10a	600 kg/10a
①	たい肥	牛ふん敷料たい肥	2 t/10a	1.0 kg/t	300 kg/t	2.0 kg/10a	600 kg/10a
①	窒素	豚ふんたい肥	1 t/10a	2.0 kg/t	400 kg/t	2.0 kg/10a	400 kg/10a
①	たい肥	馬ふんたい肥	2 t/10a	0.5 kg/t	300 kg/t	1.0 kg/10a	600 kg/10a
①	乾物	バークたい肥	1.5 t/10a	0.0 kg/t	400 kg/t	0.0 kg/10a	600 kg/10a
①	乾物	もみがらたい肥	1.7 t/10a	0.0 kg/t	400 kg/t	0.0 kg/10a	680 kg/10a
①	たい肥	稲わらたい肥	2 t/10a	1.0 kg/t	300 kg/t	2.0 kg/10a	600 kg/10a
①	窒素	下水汚泥コンポスト・高分子系	0.5 t/10a	4.0 kg/t	800 kg/t	2.0 kg/10a	400 kg/10a
①	窒素	下水汚泥コンポスト・石灰系	0.6 t/10a	3.6 kg/t	850 kg/t	2.2 kg/10a	510 kg/10a
①	たい肥	生ゴミたい肥	2 t/10a	1.0 kg/t	400 kg/t	2.0 kg/10a	800 kg/10a
②	窒素	乾燥鶏ふん	160 kg/10a	1.3 kg/100kg	90 kg/100kg	2.1 kg/10a	144 kg/10a
②	窒素	発酵鶏ふん	160 kg/10a	1.3 kg/100kg	80 kg/100kg	2.1 kg/10a	128 kg/10a
②	窒素	生鶏ふん	200 kg/10a	1.0 kg/100kg	25 kg/100kg	2.0 kg/10a	50 kg/10a
③	乾物	えん麦(後作)	4,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	乾物	えん麦(休閑)	3,000 kg/10a	0.0 kg/t	20 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	乾物	とうもろこし(休閑8月まで)	4,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	乾物	とうもろこし(休閑9月まで)	3,000 kg/10a	0.0 kg/t	20 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	窒素	シロカラシ(後作)	2,000 kg/10a	1.0 kg/t	15 %	2.0 kg/10a	300 kg/10a
③	窒素	シロカラシ(休閑)	4,000 kg/10a	0.5 kg/t	15 %	2.0 kg/10a	600 kg/10a
③	乾物	ひまわり(後作)	3,500 kg/10a	0.5 kg/t	15 %	1.8 kg/10a	525 kg/10a
③	乾物	ひまわり(休閑)	4,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	乾物	ソルガム(休閑8月まで)	4,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	乾物	ソルガム(休閑9月まで)	3,000 kg/10a	0.0 kg/t	20 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	乾物	ギニアグラス(ハウス)	4,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	窒素	赤クローバー(間作)	1,340 kg/10a	1.5 kg/t	15 %	2.0 kg/10a	201 kg/10a
③	窒素	赤クローバー(休閑8月まで)	1,340 kg/10a	1.5 kg/t	15 %	2.0 kg/10a	201 kg/10a
③	窒素	赤クローバー(休閑9月以降まで)	1,340 kg/10a	1.5 kg/t	20 %	2.0 kg/10a	268 kg/10a
③	窒素	ヘアリーベッチ(後作)	1,340 kg/10a	1.5 kg/t	15 %	2.0 kg/10a	201 kg/10a
③	乾物	マリーゴールド(休閑)	4,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
③	窒素	マリーゴールド(栽培3ヶ月以上)	2,000 kg/10a	1.0 kg/t	15 %	2.0 kg/10a	300 kg/10a
③	乾物	樹園地下草、牧草刈り込み	4,000 kg/10a	0.0 kg/t	15 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
④	乾物	秋まき小麦稈(すき込み)	670 kg/10a	-0.6 kg/100kg	90 %	-4.0 kg/10a	603 kg/10a
④	乾物	春まき小麦稈(すき込み)	670 kg/10a	-0.4 kg/100kg	90 %	-2.7 kg/10a	603 kg/10a
④	窒素	てん菜茎葉(すき込み)	2,000 kg/10a	1.0 kg/100kg	15 %	2.0 kg/10a	300 kg/10a
④	乾物	スイートコーン稈(すき込み)	710 kg/10a	0.0 kg/100kg	85 %	0.0 kg/10a	604 kg/10a
④	乾物	豆がら(すき込み)	350 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	315 kg/10a
④	乾物	稲わら(すき込み)	700 kg/10a	-0.3 kg/100kg	85 %	-2.1 kg/10a	595 kg/10a
④	乾物	稲わら(すき込み)雨ざらし、添加物あり	2,000 kg/10a	0.0 kg/100kg	30 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
④	乾物	もみがら(すき込み)	670 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	603 kg/10a
④	乾物	秋まき小麦稈(搬出)	670 kg/10a	-0.6 kg/100kg	90 %	-4.0 kg/10a	603 kg/10a
④	乾物	春まき小麦稈(搬出)	670 kg/10a	-0.4 kg/100kg	90 %	-2.7 kg/10a	603 kg/10a
④	窒素	てん菜茎葉(搬出)	2,000 kg/10a	1.0 kg/100kg	15 %	2.0 kg/10a	300 kg/10a
④	乾物	スイートコーン稈(搬出)	710 kg/10a	0.0 kg/100kg	85 %	0.0 kg/10a	604 kg/10a
④	乾物	豆がら(搬出)	670 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	603 kg/10a
④	乾物	稲わら(搬出)	710 kg/10a	-0.3 kg/100kg	85 %	-2.1 kg/10a	604 kg/10a
④	乾物	稲わら(搬出)雨ざらし、添加物あり	2,000 kg/10a	0.0 kg/100kg	30 %	0.0 kg/10a	600 kg/10a
④	乾物	もみがら(搬出)	670 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 %	0.0 kg/10a	603 kg/10a
⑤	窒素	なたね油かす	67 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	2.0 kg/10a	57 kg/10a
⑤	窒素	大豆油かす	50 kg/10a	4.0 kg/100kg	85 kg/100kg	2.0 kg/10a	43 kg/10a
⑤	窒素	わたあめ油かす	67 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	2.0 kg/10a	57 kg/10a
⑤	窒素	ひまし油かす	67 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	2.0 kg/10a	57 kg/10a
⑤	窒素	アマニ油かす	67 kg/10a	3.0 kg/100kg	85 kg/100kg	2.0 kg/10a	57 kg/10a
⑤	窒素	脱脂米ぬか	200 kg/10a	1.0 kg/100kg	85 kg/100kg	2.0 kg/10a	170 kg/10a
⑤	窒素	魚かす	40 kg/10a	5.0 kg/100kg	95 kg/100kg	2.0 kg/10a	38 kg/10a
⑤	窒素	カニから	134 kg/10a	1.5 kg/100kg	90 kg/100kg	2.0 kg/10a	121 kg/10a
⑤	窒素	乾血粉	23 kg/10a	9.0 kg/100kg	90 kg/100kg	2.1 kg/10a	21 kg/10a
⑤	乾物	草木灰	670 kg/10a	0.0 kg/100kg	90 kg/100kg	0.0 kg/10a	603 kg/10a
⑤	窒素	乾燥菌体	50 kg/10a	4.0 kg/100kg	85 kg/100kg	2.0 kg/10a	43 kg/10a

注) 1 「区分」の欄は、窒素換算する場合は「窒素」、乾物換算する場合は「乾物」と記入する。

注) 2 本表において「窒素」に区分している「たい肥等有機物」についても「乾物」に区分し、乾物換算して差し支えない。(登録基準[参考1]たい肥等有機物の窒素換算量及び乾物重の目安を参考のこと。)

注) 3 欄外※は、他と組み合わせて施用しなければ、登録基準に適合しないことを表す

クリーン農業技術体系(第三版)

発行:平成26年9月

編集:北海道クリーン農業推進協議会

(JA北海道中央会農業振興部農業企画課)

〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地北農ビル10階

TEL:011-232-6411

FAX:011-222-3598

監修:地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部

〒069-1395 夕張郡長沼町東6線北15号

TEL:0123-89-2001

FAX:0123-89-2060
